

第6次朝日町総合計画 前期基本計画
令和3年度事業評価報告書

令和4年8月
朝日町

第6次朝日町総合計画の事業評価について

1. 目的

令和3年度を初年度とする第6次朝日町総合計画では、総合計画を推進するに当たり「3計画の推進に向けて」において、「(1) 多様な主体による計画の推進」、「(2) PDCAサイクルによる計画の推進」を示しています。

特に、「(2) PDCAサイクルによる計画の推進」においては、総合計画の実行性を担保するため、「評価・検証」について示していることから、総合計画に記載されている基本計画について進捗管理を適切に行うための「評価・検証」する仕組みを構築し、それぞれの所管課において計画の進捗状況を管理します。

【参考】第6次朝日町総合計画 3計画の推進に向けて (2) PDCAサイクルによる計画の推進 一部抜粋

本町の計画推進に当たっては、限られた資源（人員・財源等）を最大限に発揮できるよう、効果的な資源（人員・財源等）の結びつけによる行政経営マネジメントの向上を図り、着実な施策の推進と評価・検証、必要に応じ見直しをするなどPDCAサイクルに基づいて、目標の実現に向けた取り組みを進めていきます。

2. 進捗状況の評価について

各所管課は、PDCAサイクルマネジメントを実践するため、主要施策ごとに事業評価シートを作成し、内部評価を実施します。内部評価実施については、実効性をより担保するため上半期終了時点に進捗状況の評価を行うとともに、年度末に年間の事業実績等に対する事業評価を行います。

なお、年度末に実施する年間の事業実績等に対する事業評価結果については、事業の透明性を高めるとともに町民との協働体制を強化するため、町民に公開・周知（ホームページ等）を行います。

【内部評価実施時期】

(1) 10月中旬

当該年度の9月末時点の進捗状況について評価を実施します。

(2) 翌4月中旬

当該年度の3月末時点の進展度、取り組み概要と成果、残された課題について評価を実施するとともに、評価結果を踏まえ、翌年度の取り組み方向を示します。

計画推進のPDCAサイクル



3. 事業評価シートについて（記載方法）

主要施策

主要施策○	第6次朝日町総合計画における主要施策を記載しています。	所管課	主要施策における所管課を記載しています。
■ 令和3年度の進展度		※ 下記の取り組み概要及び目標指標の達成状況を踏まえA～Dの4段階で評価しています。	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
令和3年度の取り組み内容を具体的に明記するとともに、取り組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している新たな課題を記載しています。			
■ 令和4年度の取り組み方向			
事業評価を踏まえ、令和4年度の取り組み方向を記載しています。			

※ ■ 令和3年度の進展度（3月末時点）（A～Dで評価）

A：十分進んだ（100%）

B：ある程度進んだ（70%以上100%未満）

C：あまり進まなかった（40%以上70%未満）

D：進まなかった（40%未満）

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
第6次朝日町総合計画における目標指標を記載しています。	令和元年度の現状値	目標値	令和3年度の目標値	令和4年度の目標値			令和7年度の目標値
		実績値	令和3年度の実績値				

※現時点で、当該年度の現状値の把握が困難な指標については、把握可能な最新年度の数値を記載しています。最新年度を用いた場合は、「例：（H30）または（R1）等」と併記しています。なお、これに関連する目標値も同様に、評価に用いる対象年度を「例：（R1）等」と併記しています。

1-1 子育て支援の充実

施策の目指す姿

- 「子育てするなら朝日町」と言われるように、様々な子育て家庭が安心して生活できる地域社会になっています。
- 保育の「質」と「量」の確保により、子育て世代が夢と希望、喜びをもって安心して子育てを行い、子どもが健やかに成長することができる環境が整っています。
- 次代を担う全ての子どもが健やかに成長できるよう、地域ぐるみの子育て環境が整備され、子どもを産み育てることへの不安を軽減するための支援体制が充実しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	保育サービス等の充実	所管課	あさひ園・子育て健康課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保幼小中育ちのリー事業」を通じて、園児・児童・生徒の交流や教職員の交流が計画どおり実施できており、途切れなく子どもたちの健やかな成長を支援できました。 ・保護者の就労時間や園児の成長過程に対応し、早朝保育、延長保育の受け入れや障がい児保育の加配保育士の配置ができました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育を行っている保育所の案内パンフレットを窓口を設置、必要な方に配布を行いました。なお、朝日町内で事業受入可能な医療機関がないため、桑名市及び近隣市町と連携し引き続き事業が継続できるように取り組みました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健やかな成長を支援するため教育委員会と連携し、体系的に事業を実施します。 ・多様化する保育ニーズに対応できるよう保育士を確保し、安定した保育所運営を実施します。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町と連携し引き続き病児保育が継続できるように努めます。 			

主要施策2	地域ぐるみの子育て環境整備の推進	所管課	子育て健康課・あさひ園
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センター、縄生公民館、柿公民館、埋縄公民館にて育児相談を実施しました。希望者だけでなく、健診等で育児不安がある方や悩みのある方に参加も勧めました。 ・7、8か月児相談や離乳食教室等にて、母子同士の交流ができる時間を設けました。 ・児童館は、18歳未満の子どもたちへ遊びを通じて健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊かにする事を目的に各種事業（ぼっぼ・子どもあそび館）を実施しました（利用者数16,251人）。 ・放課後児童クラブは現在5か所で運営しており、事業者へ運営補助として補助金を交付しました（利用者数176人）。 ・放課後児童クラブの利用者は毎年増加し続けており、町として待機児童が出ないように事業者とは情報共有を徹底し、学童保育スペース確保の工夫も併せてお願いしました。また、来年度降も利用者の増加が見込まれますが、引き続き待機児童が出ないように事業者との調整が必要です。 <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業を毎日開催し、子育て家庭の交流の場が提供できました。 ・子育ての不安や悩みの解消を図るため、育児相談を予約制で実施し、子育て支援の受け皿を拡大することができました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談を引き続き実施するとともに、健診等を通じて育児不安がある方等を適切に育児相談へ繋げます。また、離乳食教室等の各種教室を活用し、母子同士の交流の場を設けます。 ・引き続き、子どもたちの健全な育成を図るため、朝日町児童館にて各種事業（ぼっぼ・子どもあそび館）を実施します。 ・放課後児童クラブは令和4年度の利用希望者は全員入所可能となりましたが、今後も増加する利用者に入体制を整えて待機児童が出ないように事業者と調整していきます。 <p>※【実施計画】学童保育所運営補助事業</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさひ園と子育て支援センターという限られた資源の中で、可能な限りの子育て支援の受け皿を維持し、事業を実施します。 			

主要施策3	母子保健対策の充実	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から各時期に合わせた教室・健診・相談等を実施し、途切れのない支援を行いました。また、赤ちゃん訪問及び乳幼児健診を行い、乳幼児期の身体発育及び精神発達発達を確認し、必要に応じた指導を行いました。 ・子ども医療費助成事業については計画どおり事業を遂行でき、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができました。（実績額54,593千円）。 <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策の一環として、特定不妊治療費・不育治療費助成事業により、治療費用の一部を助成することによって経済的な負担の軽減を図りました（助成件数50件、助成額3,226千円）。 <p>※【実施計画】不妊治療費・不育症治療費助成費事業</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、妊娠期から各時期に合わせた教室・健診・相談等を実施します。 ・子ども医療費助成事業については、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、引き続き実施します。 <p>※【実施計画】子ども医療費助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、特定不妊治療費は、令和4年度から保険診療適用になるため、助成を見直します。 			

主要施策4	子どもの発達支援の推進	所管課	子育て健康課・あさひ園
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士）の個別相談で、言語指導、発達検査等の相談・助言を予約制で103回実施しました。 ・専門職（作業療法士・学校教育士）の園・学校への巡回相談、作業療法を16回実施しました。 <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みえ発達障がい支援システムアドバイザーの取り組みとしては、発達障がいに関する理解が深まるよう啓発を行うとともに、適切な途切れのない支援が行われるように発達支援の推進に努めました。また、発達障がいに関する児童の保護者相談や不登校児童の相談を受け、園学校へ繋ぎました（学校への児童観察、支援方法の提案）。 ・町の発達障がいに関しての途切れのない支援体制構築のための研修発表を実施しました。 <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県立子ども心身発達医療センターやNPO法人と連携し、子どもたちの途切れのない支援を行うため職員研修を実施し、保育士の質の向上と個々に応じた支援を提供することができました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特別な支援を必要とする子どもの早期発見に努め、専門職（言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士・学校教育士）による相談・指導等を実施します。 ・引き続き、発達障がいに関する普及啓発活動を行います。思春時期の児童の発達の課題や不登校児童について研修等を通して、専門性や技術力向上を図ります。 <p>※【実施計画】子どもの発達支援事業</p> <p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等の外部機関と連携することにより、新たな支援に対する気付きなど保育士の質の向上のための学習機会を継続して確保します。 			

主要施策5	様々な子育て家庭に対する支援の充実	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の子ども、障がい児を対象として、医療機関にかかったとき、保険適用分のうち自己負担分（額）を後日助成しました。 ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯支援特別給付金を国及び県と連携して円滑に支給しました。 ・虐待・DV・若年妊婦等、支援が必要な家庭については、あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等関係機関と情報共有、相談を図りながら支援しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成については、対象世帯の経済的な負担軽減を図るため、引き続き実施します。 ・引き続き、虐待・DV・若年妊婦等、支援が必要な家庭については、あさひ園や小中学校、教育課、児童相談所、福祉事務所等関係機関と情報共有、相談を図りながら支援を実施します。 			

主要施策6	児童虐待の未然防止の推進	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、学校、園、地域（民生委員会）など関係機関に虐待リスクのある家庭、支援が必要な家庭の情報共有を実施しました。また、必要に応じて、ケース会議を行い虐待の早期発見、早期支援を行いました。 育児で困ったときに相談できる場を町広報紙やリーフレットにて周知しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校、園、地域（民生委員会）など関係機関と要保護児童及びDV対策地域協議会の会議を開催して対応を協議するとともに連携の強化を図ります。また、必要時には随時ケース会議を開催する等、早期の対応に努めます。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
保育所入所待機児童数	0人	目標値					0人
		実績値	0人	/	/	/	/
子育て支援センター利用者数	20人/日	目標値					全希望者
		実績値	10人/日 (全希望者)	/	/	/	/
放課後児童クラブ利用者数	175人	目標値					全希望者
		実績値	176人 (全希望者)	/	/	/	/
児童館利用者数	17,466人	目標値	14,500人	16,500人	/	/	18,000人
		実績値	16,251人	/	/	/	/
赤ちゃん訪問率	100%	目標値					維持
		実績値	91.2%	/	/	/	/
1歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	98.2%	/	/	/	/
3歳6ヶ月児健診受診率	100%	目標値					維持
		実績値	99.1%	/	/	/	/

1-2 高齢者福祉・介護保険の充実

施策の目指す姿

- 高齢者が住み慣れた地域で、社会活動や趣味活動を通して生きがいを見つけ、自立と尊厳をもって自分らしく安心して暮らしています。
- 高齢者も含めた地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、助け合い、地域をともに創っていく「地域共生社会」が進んでいます。
- 介護が必要となった場合に適切なサービスが提供されるなど、保健・医療・介護・福祉等と連携した「地域包括ケアシステム」の構築が進んでいます。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	高齢者の生きがいつくり・高齢者を支える地域づくりの推進	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・通いの場としてのサロン事業は新型コロナウイルス感染症により予定の中止・延期を行っており、十分に実施できませんでした。また、社会貢献できる場としての福祉人材センターについても利用者がいないことから活動する場がなく、登録者数が横ばいであるが、新型コロナウイルス感染症の状況により活動の場を拡充することも困難な状況でした。</p> <p>・後付け安全運転支援装置設置費補助事業については、年間実績で18名の申請がありました。</p> <p>※【実施計画】後付け安全運転支援装置設置費補助事業</p> <p>・保健福祉センター空調機更新事業は、令和3年8月から工事を開始し、令和3年12月に無事完成しました。</p> <p>※【実施計画】保健福祉センター空調機更新事業</p> <p>・保健福祉センター駐車場の舗装工事は、令和3年11月から工事を開始し、令和4年3月に無事完成しました。</p> <p>※【実施計画】保健福祉センター舗装更新事業</p> <p>・三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）と協力して地域包括ケアシステムを推進しており、地域ケア会議には、三師会に参加してもらい、意見等を確認しているほか、住民向け講演会などにも講師として参加してもらっています。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、年3回の講演会を実施しました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・通いの場としてのサロン事業、福祉人材センターのボランティア募集等については引き続き継続していきますが、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら進めます。</p> <p>・配食サービスの将来的な事業継続と、食生活改善推進員およびさわやか配食サービス協議会員の負担軽減を図るため、新たに「配食ボランティア」を組織し、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、配食サービスを再開する予定です。</p> <p>・地域包括ケアシステムについては、引き続き三師会と協力して進めて行くとともに、介護予防・認知症予防事業の観点から、運動教室の強化・認知症カフェの新規実施など事業の拡充を行います。</p>			

主要施策2	介護予防・介護保険サービスの充実	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・新型コロナウイルス感染症により一般介護予防事業の事業中止などはありませんでしたが、要支援状態から事業対象者へ移行した方や、リスクがある方のチェックリスト実施による総合事業対象者は増加しており、重症化防止について少しずつ成果が出てきています。</p> <p>・男性に特化した運動教室や料理教室を実施したところ、従来の事業を敬遠していた層から支持され、好評を得ました。</p> <p>・体の状態や認知状態に不安があり、今後申請や相談が必要な方が、スムーズに支援や申請を行えるように地域包括支援センターと情報共有しました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・一般介護予防事業については引き続き実施しますが、事業内容を整理し、男性向け教室の充実や運動関係教室の強化を行います。</p>			

主要施策3	在宅医療・介護連携の推進	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・在宅医療・介護連携については朝日町地域包括支援センターが中心となり四日市医師会が主催する地域連携室連絡会に参加し、医師会及び1市3町間での連携を密に行いました。</p> <p>・薬剤師会との連携事業として、ブラウンバッグ事業を実施しました（今年度70～75歳を迎える方にブラウンバッグの配布及び制度周知）。しかし、薬剤師会による使い方についての講演などを行いましたが、利用には、あまりつながない状況です。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・在宅医療・介護連携については、引き続き朝日町地域包括支援センターが中心となり、四日市医師会及び1市3町間で連携を図り推進します。</p> <p>・三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）による正しい服薬や口腔ケアの重要性についてなど、在宅医療・介護連携に関する講演の開催を予定しています。</p>			

主要施策4	認知症対策の推進	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・認知症サポーター養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。</p> <p>・徘徊高齢者SOSメールの登録者数については老人クラブ等で周知していることもあり、3月末時点で359件登録がなされています。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・認知症の方が安心して地域で暮らせるよう、認知症サポーター養成のため、養成講座の開催を予定しています。</p> <p>・徘徊高齢者SOSメールについては、現状は検索対象者の情報が文字情報しか送信できないため、画像データも送信できるように改良を行います。</p> <p>・老人性難聴が認知機能低下のリスクとされていること、また、補聴器の使用により生活の質（QOL）向上を図るため、75歳以上の身体障害者手帳交付者以外の日常生活で支障のある難聴者を対象とした補聴器購入費用助成事業を実施します。</p> <p>※【実施計画】高齢者補聴器購入費用助成事業</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉人材センター登録者数	17人	目標値	20人	20人	/	/	33人
		実績値	17人	/	/	/	/
一般介護予防事業参加者延べ人数	5,970人	目標値	5,000人	4,000人	/	/	6,500人
		実績値	2,994人	/	/	/	/
認知症サポーター数	100人	目標値	120人	330人	/	/	200人
		実績値	315人	/	/	/	/
徘徊高齢者SOSメール登録者数	216人	目標値	230人	380人	/	/	300人
		実績値	359人	/	/	/	/

1-3 障がい者施策の充実

施策の目指す姿

- 障がいのある人もない人も地域社会の一員として、お互いの個性を認め、支え合える社会になっています。
- 障がい者が自らの意思に基づいて社会活動に参加し、住み慣れた地域において自立した生活を送ることができる社会になっています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	自立生活への支援	所管課	保険福祉課・子育て健康課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会にて圏域内（三町関連施設3か所及び管内の商業施設1か所）で、精神疾患退院後の生活支援に関する啓発のため、こころのバリアフリー展示会（パネル展示）を実施しました。また退院後の住居確保に向けて、圏域における居住支援関連の資源把握を実施しました。 ・四日市圏域の1市3町が相談支援体制の充実に向けて事業所を支援する補助金「指定特定相談支援等体制強化補助金」を創設しました。 ・障がい者の日常生活の利便性を高めるため、補装具12件、日常生活用具220件を支給決定しました。 ・各手帳交付時に各種手当や制度の周知を行いました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児及び発達障がいを持つ子どもが適切な支援を受けられるように、相談支援事業所と連携し、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用等、福祉サービスの利用を勧めました。また、適宜担当者会議を開催し、関係機関との情報交換及び今後の支援について検討しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域にて甲州・東海ブロック家族会精神保健促進研修会が行われるため、同会2日目に一般層にむけての啓発活動として地域課題である“住まい”や“社会参加”について講演会等を予定しています。また、四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会内の1法人が三重県精神障がい者地域移行・地域定着支援事業を受託し、圏域内2法人（精神科入院施設）における一人暮らし体験に向けたニーズ調査や精神科病院職員への研修を予定しています。 ・「指定特定相談支援等体制強化補助金」の申請を受け付け、補助金を交付します。今後は、この補助金によって相談専門支援員の増員が図られていくのか毎年実績を確認していく必要があります。 ・引き続き各手帳交付時に各種手当や制度の周知を行います。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き医療的ケア児及び発達障がいを持つ子どもが適切な支援を受けられるよう相談支援事業所と連携し、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用等、福祉サービスの利用を促します。また、適宜担当者会議を開催し、関係機関との情報交換及び今後の支援について検討します。 			

主要施策2	雇用・就労への支援	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		C	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の雇用部会では、企業サポート等を行っているものの当町からは福祉施設から一般就労への移行者はありませんでした。 ・特別支援学校での進路懇談会はWeb形式で行われ、学校と連携して3人の就労支援を実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の雇用部会での取り組みを継続します。 ・特別支援学校の進路懇談会へ参加し、卒業後の就労に向けてサポートを行います。 			

主要施策3	差別解消・虐待防止・社会参加の促進	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・12月の障害者週間に合わせて、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方への理解促進として「ヘルプマーク」について町広報紙に掲載しました。 ・四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会にて、障がい者の虐待対応についてのフローチャートを作成し、四日市圏域で対応を共有しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・継続して合理的配慮や障がい者虐待防止の啓発について、町広報紙に掲載します。 ・障がい者の虐待の対応時は、作成したフローチャートに基づき相談支援事業所等の関係機関と連携して早期対応に努めます。 ・障がい者の地域活動、レクリエーション活動等が開催される際に活動の周知を支援します。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉施設の入所者の地域生活への支援	0人	目標値	1人	1人	/	/	1人
		実績値	0人	/	/	/	/
福祉施設から一般就労への移行者数	0人	目標値	1人	1人	/	/	1人
		実績値	0人	/	/	/	/
合理的配慮や障がい者虐待防止の啓発回数	1回	目標値	1回	1回	/	/	3回
		実績値	1回	/	/	/	/

1-4 健康づくりの推進

施策の目指す姿

- 一人一人が積極的に健康づくりに取り組み、健康寿命を延伸し、誰もがその人らしく、生き生きと心身ともに健康に過ごしています。
- ライフステージに応じた健康づくりの取り組みを家庭や学校及び職場など、社会全体で支援する環境が整っています。
- 町内外の医療機関と連携して、感染症対策や医療ニーズの高まりに対応した地域医療体制が整っています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	ライフステージに応じた健康づくりの推進	所管課	子育て健康課・保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児への歯科保健対策として、「妊婦歯科検診」を実施し、妊娠期からの歯科保健指導を実施しました。 ・青壮年期の成人が、自ら心身の健康づくりに積極的に取り組めるよう、「朝日町健康マイレージ事業」を実施しました。また健康マイレージ事業参加者には、抽選で朝日町特産品（あさひのお米）を景品としたことで、参加者の増加がみられました。 ・高齢者の生活習慣病予防として、70歳以上のがん検診自己負担金を無料としていますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、健診日程が変更となったこともあり、受診率の低下が課題となりました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歯科疾患予防や口腔機能維持・向上にむけて、令和3年12月及び令和4年3月に三重県歯科衛生士会四日市支部及び朝日町地域包括支援センターとともにケーブルテレビによる講話放映を実施しました。講話による実技及び知識普及を行いました。放映のため視聴者への成果(理解度)の把握が困難という課題がありました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな心身の発達を育むため、「1か月健康診査費用助成事業」及び「新生児聴覚スクリーニング検査費用助成制度」を実施します。また産後ケア事業の対象年齢を出生後1年まで、利用回数を15回と拡大し、よりきめ細やかで切れ目のない支援を目指します。 ・青壮年期の成人を中心に、「マイレージ事業」のより一層の啓発を継続して実施します。また、歯科保健対策として、40歳からの「さわやか歯科検診」を継続して実施します。 ・三大死因であるがん予防のため、がん検診を継続して実施します。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、対象者の受診控えをなくしていけるような啓発を行います。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歯科疾患予防や口腔機能維持・向上については、講話による実技及び知識向上を図るため、より多くの高齢者が参加しやすいように、今年度はケーブルテレビによる講話放映と集団講話の併用で実施する予定です。 			

主要施策2	疾病予防や重症化対策の推進	所管課	子育て健康課・保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種健（検）診については、対象者へ個人通知にて案内し、勧奨しました。 ・がん検診案内時には、各がんに関する情報や検査方法、精密検査の重要性などを記載した説明書を同封し、健診受診後の精密検査受診の必要性を啓発しました。 ・がん検診受診者数（受診率）は、胃がん検診465人（7.8%）、大腸がん検診626人（10.5%）、肺がん検診497人（8.3%）、乳がん検診438人（12.1%）、子宮がん検診609人（14.9%）、前立腺がん検診219人（7.4%）です。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保加入者特定健康診査・後期高齢者健康診査についてはコロナ禍であったが、四日市医師会及び管内市町協力のもと健診期間延長を行い実施しました。また、歯科検診については例年通り実施しました。なお、実績は国保特定健康診査394人（42.8%）、後期高齢者健康診査526人（48.0%）、後期高齢者歯科検診63人（25.2%）です。 ・特定保健指導については新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を図りながら実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種健（検）診を実施するとともに、健（検）診の勧奨及び啓発を実施します。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市医師会及び管内市町と協力し、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては感染拡大予防対策を行いながら、引き続き国保加入者特定健康診査・後期高齢者健康診査を実施する予定です。各健診及び保健指導事業の受診率・利用率の向上にむけて事業PR等実施していく予定です。 			

主要施策3	地域や関係機関と協働した健康づくりの推進	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・あさひ健康マイレージを活用し、一人一人が積極的な健康づくりを推進できるよう、健康マイレージの周知・啓発のためチラシを5,000枚作成し、町広報紙折込にて全戸配布しました。また、がん検診や国保特定健診のご案内時にチラシを同封しました。さらには、朝日町特産品（あさひのお米）をインセンティブとし、参加者の増加を図ると共に、特産品の啓発も行いました。しかし、参加者が12名と少なく、さらなる啓発が必要です。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの推進のため、啓発の機会を増やし、あさひ健康マイレージ参加者の増加に努めます。 ・企業経営に従業員の健康管理を取り入れた健康経営の普及促進のため、窓口にて「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。 			

主要施策4	健康危機に備えた対応の推進	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度（3月末時点）		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・各種感染症から町民を守るため、対象者には、個人通知や町広報紙等で周知を行い、BCG接種91人、二種混合158人、四種混合のべ377人、麻しん風しん混合のべ224人、日本脳炎のべ377人、ヒブのべ371人、小児肺炎球菌のべ376人、水痘のべ206人、B型肝炎のべ280人、ロタのべ194人、子宮頸がんのべ57人、高齢者インフルエンザ1,219人、高齢者肺炎球菌51人、風しん抗体検査146人、風しん予防接種32人、新型コロナウイルスワクチンのべ20,689人が予防接種を実施しました。</p> <p>・町民への円滑なワクチン接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、まん延の防止を図りました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、マスク、手袋、手指用消毒液、器材用消毒液等の備蓄を行いました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・引き続き各種感染症から町民を守るため、対象者には個人通知や町広報紙等で周知を行うとともに、接種率の向上に努めます。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び重症化予防のため、引き続き新型コロナワクチン予防接種の円滑な実施に努めます。</p> <p>・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、衛生備品の備蓄を行います。</p>			

主要施策5	こころの健康づくり対策の推進	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・自殺予防の一環である学童期からのこころの健康づくり対策として、中学校でのこころの健康づくり研修会をオンラインにて開催しました。</p> <p>・庁舎内担当者と関係機関の情報共有の場として、こころの健康づくり推進協議会を開催しました（コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にて開催）。</p> <p>・町広報紙にて、毎月「こころの健康づくりだより」を掲載し、「こころの健康」に関する啓発を行うとともに、各相談窓口の周知を図りました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・心の健康づくり推進協議会を開催し、関係機関との情報共有を図るとともに、中学生対象のこころの健康づくり研修会や、町広報紙による相談窓口紹介等の啓発を行います。</p>			

主要施策6	地域医療体制の充実	所管課	子育て健康課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・適切な医療サービスを受けられるよう、かかりつけ医の普及を図るとともに、広域連携のもと、休日夜間診療や救急医療体制の確保と「医療ネットみえ」「医療マップ」等による情報の提供を行いました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・令和4年度も継続して、適切な医療サービスを受けられるよう、かかりつけ医の普及を図るとともに、広域連携のもと、休日夜間診療や救急医療体制の確保と「医療ネットみえ」「医療マップ」等による情報の提供を行います。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
国民健康保険特定健診受診率	47.4%	目標値	55.6%	57.6%	/	/	60.0%
		実績値	42.8%	/	/	/	/
国民健康保険特定保健指導率	52.5%	目標値	52.0%	55.9%	/	/	60.0%
		実績値	22.8%	/	/	/	/
後期高齢者健診受診率	47.6%	目標値	46.0%	47.0%	/	/	50.0%
		実績値	48.0%	/	/	/	/
後期高齢者歯科検診受診率	26.5%	目標値	26.0%	27.0%	/	/	30.0%
		実績値	25.2%	/	/	/	/
がんによる死亡率	29.9% (H30)	目標値	29.0%	29.0%	/	/	28.0%
		実績値	29.8%	/	/	/	/
毎日朝食摂取率(20~39歳)	男69.7% (H30) 女81.2% (H30)	目標値	/	/	男75.0% 女85.0%	/	/
		実績値	/	/	/	/	/
成人の喫煙率の減少	9.9% (H30)	目標値	/	/	5.0%	/	/
		実績値	/	/	/	/	/
運動習慣のある人の割合	男40.2% (H30) 女41.3% (H30)	目標値	/	/	男45.0% 女48.0%	/	/
		実績値	/	/	/	/	/
65歳以上高齢者のうち、要介護3以上の割合	5.29%	目標値	5.00%	5.25%	/	/	5.00%
		実績値	5.41%	/	/	/	/

1-5 地域福祉の推進

施策の目指す姿

- 子どもから高齢者まで町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、町民が積極的に福祉活動に取り組み、支え合いのまちづくりが進んでいます。
- 高齢者、障がい者、妊産婦や乳幼児を連れた保護者など全ての人々が利用しやすい、ユニバーサルデザインによる優しいまちづくりが進んでいます。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	地域福祉の人材育成	所管課	保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題（3月末時点）			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関する意識啓発の場である、「福祉感謝祭」はコロナ禍により中止となりました。 ・月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、民生児童委員の福祉に対する知識向上に協力ができました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉感謝祭を通じて、地域福祉に関する意識啓発を行います。 ・引き続き、月1回の民生児童委員協議会を通じて、町から福祉制度の周知を行い、民生児童委員の福祉に対する知識向上に協力していきます。また、令和4年度に民生児童委員の改選を迎えることから、委員の確保に努めます。 			

主要施策2	地域福祉の体制づくり	所管課	保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回開催の民生児童委員協議会を通じて、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、民生児童委員に活動協力ができました。 ・見守りに関する協定に基づき、見守り活動が実施されました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、月1回開催の民生児童委員協議会を通じて、町から高齢者、障害者、生活困窮者等の情報提供を行い、民生児童委員の活動協力を継続していきます。 ・引き続き、見守りに関する協定に基づく見守り活動が実施されるとともに、新たに企業や各種団体との協定締結を検討します。 			

主要施策3	福祉サービスの充実	所管課	保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画について、近隣市町の策定状況の情報収集に努めました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域福祉計画について、近隣市町の策定状況の情報収集に努めます。 ・令和4年度から、成年後見制度の利用促進を図る為、「中核機関」を設置し、成年後見制度の「広報及び周知・普及啓発」、「相談及び利用支援」、「地域連携ネットワークの構築」を行い、利用意向のある方が成年後見制度を円滑に利用できるよう支援していきます。 			
※【実施計画】成年後見中核機関事業			

主要施策4	人にやさしい環境整備の推進	所管課	保険福祉課・産業建設課・総務課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方に、ヘルプマーク39件、ヘルプカード25件を配付しました。 ・12月の障害者週間に合わせて、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方への理解促進として「ヘルプマーク」について町広報紙に掲載しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR朝日駅前ポケットパークのトイレを多目的トイレへ建替えを実施しました。 ・近鉄伊勢朝日駅のバリアフリー化について、整備方針等を事業者と協議を行いました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想において、整備の基本方針の中で、誰もが利用しやすいような施設のバリアフリー化等により、「人や環境にやさしい庁舎」を目指すことを位置づけました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヘルプマーク」に続き、普及及び理解促進のため「ヘルプカード」について町広報紙に掲載します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅のバリアフリー化について、引き続き事業者と協議を行います。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想において、整備の基本方針を踏まえた整備の視点の中に「町民の利便性に配慮した視点」や「環境に配慮した視点」をそれぞれ盛り込みます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティアセンター登録者数	253人	目標値	260人	280人			375人
		実績値	252人				
民生委員・児童委員数	20人	目標値	20人	20人			23人
		実績値	19人				
見守りに関する協定数	1協定	目標値	2協定	3協定			5協定
		実績値	2協定				
地域福祉計画の策定	未策定	目標値	—	—			策定済
		実績値	—				

1-6 社会保障の充実

施策の目指す姿

- 各種社会保障制度は、健全な財政のもと適正かつ安定的に運営され、支援を必要とする人が安心して支援を受けられるような制度として構築されています。
- 最低限度の生活が保障されるとともに、その自立を支援するためのセーフティネットが、県や関係機関と連携のもと確保されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	公的保険制度の健全な運営	所管課	保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・4月から高額療養費の支給要件に該当した世帯へ制度の周知と申請忘れを防止することを目的に通知を行いました。その結果、高額療養費支給率として、令和2年度が約35%であったのに対して、令和3年度は約83%と大幅にアップしました。(国民健康保険) ・保険料の納付手段のバリエーションが幅広くなり、納付相談や保険料未納に対する納付計画を遂行していくことで、収納率(現年度分)が令和2年度94.99%から令和3年度95.39%まで上昇しました。(国民健康保険) ・三重県後期高齢者医療広域連合と連携を図り業務を進めました。今後も連携を図り、業務に当たる必要があります。(後期高齢者医療) ・保険料の未納の方には督促状の送付前に電話で納付勧奨した他、口座振の案内を行いました。(後期高齢者医療・介護保険) ・ケアプラン点検を1件行いました。今後も継続して行えるよう担当間で調整を行う必要があります。(介護保険) ・おむつ給付適正化のための見直しは今年度行えませんでした。今後給付要件等をどうしていくか担当間で調整を行う必要があります。(介護保険) 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費支給率の更なるアップのため、令和4年6月から申請手続の簡素化制度をスタートする予定です。この制度により、初回のみ口座登録するとそれ以降は自動的に口座へ振り込まれます。(国民健康保険) ・10月1日から負担の見直しにより2割負担の施行、それに伴う保険証の2回交付等が行われるため、三重県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、分かりやすい案内を行います。(後期高齢者医療) ・納付率向上のため差し押さえ等の状況を近隣に確認を行い検討します。(後期高齢者医療・介護保険) ・年2回ケアプラン点検を行い、介護サービスの質の向上や給付の適正化に努めます。(介護保険) ・おむつ給付適正化のため近隣の状況を確認しながら令和5年度に向けて給付要件の見直し等を検討します。(介護保険) 			

主要施策2	国民年金制度の周知	所管課	町民環境課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の制度に関する啓発を町広報紙を通じて行いました(6月、11月、1月掲載)。 ・窓口での手続き案内や申請補助を実施しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、国民年金の制度に関する周知、啓発、窓口での案内を実施します。 			

主要施策3	生活困窮者に対する支援	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮されている方の相談に対し、必要に応じて適切な支援が受けられるように各関係機関が実施する支援と連携を図りました。 ・生活保護が必要な方には、困窮程度と緊急度に応じて適切に保護が受けられるよう、実施機関である県との連携を図りました。 ・福祉総合相談窓口については未整備の為、福祉の各相談に応じて、担当課が交代で対応しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生活困窮されている方の相談に対し、必要に応じて適切な支援が受けられるように各関係機関と連携し支援を行います。 ・福祉総合相談窓口については、福祉の各相談に応じて、担当課が交代で相談対応していく中で、総合相談窓口として実施する為の必要な準備を検討します。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
国民健康保険料現年分収納率	95.3%	目標値	95.3%	95.8%			97.3%
		実績値	95.4%				
国民健康保険特定健診受診率【再掲】	47.4%	目標値	55.6%	57.6%			60.0%
		実績値	43.0%				
国民健康保険特定保健指導率【再掲】	52.5%	目標値	52.0%	55.9%			60.0%
		実績値	22.8%				
後期高齢者健診受診率【再掲】	47.6%	目標値	46.0%	47.0%			50.0%
		実績値	48.0%				
後期高齢者歯科検診受診率【再掲】	26.5%	目標値	26.0%	27.0%			30.0%
		実績値	25.2%				
福祉総合相談窓口の整備	未整備	目標値	—	—			整備済
		実績値	—				

2-1 学校教育の充実

施策の目指す姿

- 子どもたちは、良好な教育環境のもとで、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、知・徳・体のバランスの取れた、本町の将来を担う人材として生きる力を身につけ成長しています。
- グローバル化や情報化の進展に対応できる基礎能力を養うための外国語教育やプログラミング教育などの教育環境が整い、時代に即した能力を育てています。
- 学校、家庭及び地域の連携とともに、あらゆる教育資源を生かした、子どもたちの能力を最大限に伸ばす教育環境が整っています。
- 子どもたちを犯罪や災害から守る体制が整備され、子どもたちの安全・安心が確保されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	確かな学力育成	所管課	あさひ園・教育課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムテーマを「言葉」と「人間関係」として取り組みを進めました。この取り組みに対し、学校関係者評価として「園は、いろんな幼児が共に育つことを大切にし統合保育に努めている」と評価を受け、取り組みの成果としています。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育成するため、基礎学力充実講師（小学校5人・中学校4人）やALT（小中学校にそれぞれ1人）を配置するとともに、小学校に理科支援員（1人）及び外国語活動指導員（1人）を配置しました。 ・児童生徒の主体的な学びを推進するため、全ての教員（常勤・非常勤講師ともに）が年1回以上、研究授業を実施し、授業力の向上をめざし、指導主事を招へいし、指導力の向上・授業改善を図れるよう取り組みました。また、1人1台端末を整備した結果、全国学力学習状況調査において、小中学校ともに平均正答率が全国平均を大きく上回りました（小学校：国語（+7.3pt）算数（+6.8pt）中学校：国語（+6.4pt）数学（+10.8pt））。一方でパソコン端末の持ち帰りが今後の課題となっています。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><あさひ園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力育成の施策達成のため、毎年具体的なテーマを設定し、学校関係者評価など客観的な評価を取り入れます。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、家庭学習の手引きを作成し、児童の発達段階に応じた家庭学習・読書の習慣づけを働きかけるとともに、保護者へ家庭学習の意義について啓発します。また、中学校では、小学校で身につけてきた家庭学習習慣に加え定期テストもあるため、計画的に学習を進めるよう指導します。 ・家庭での学習習慣を定着させ、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、パソコン端末の家庭への持ち帰りができるよう、環境整備を進めます。 <p>※【実施計画】小中学校校務用ネットワーク分離のためのサーバー構築業務委託事業</p>			

主要施策2	豊かな心の育成	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の「できた」「分かった」等の達成感を味わうことができるよう、一人ひとりの実態を把握し、全ての教育活動において取り組みを進めました。 ・コロナ禍で体験活動は実施することができなかつたが、農業の様子を実際に見学しました。 ・感染症対策を講じたうえで、小学校では芸術鑑賞（観劇）を実施し、音楽や演劇の世界に触れることができました。また、中学校では、文化祭を開催し、各クラスで練習してきた合唱を全体に披露することや文化部が日頃の部活動で取り組んできた作品等を披露することができました。 ・小学校の社会科において、地域を題材にした教材を使った授業を実施するとともに、社会科副読本「わたしたちの朝日町」の改訂作業を進めました。 ・豊かな人権感覚を育むため、人権及び道徳教育実施計画に基づいた取り組みを推進しました。また、中学校では、学校だより「朝風」を通じて、「人間力とは何か」「なぜ人間力が必要とされるのか」等を生徒が現在置かれている状況から、自立した一人の人間として力強く生きていくために具体例を示しながら啓発しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童生徒の豊かな心の育成のため、一人一人を大切にしたい教育活動を継続していきます。 ・小学校社会科副読本「わたしたちの朝日町」を改訂するとともに、豊かな人権感覚を育むため、発達段階に応じた途切れのない取り組みが推進されるよう、中学校区人権教育推進計画・人権教育カリキュラムを作成します。 			

主要施策3	健やかな体の育成と食育・健康教育の充実	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある体育授業づくりや5分間運動など授業の初めに主運動につながる運動を取り入れる等により、子どもたちが運動の楽しさや喜びを感じることを通して子どもたちの体力向上をめざしました。 ・小学5年生、中学2年生の体力・運動能力を測る全8種目の合計点は、前回調査と比較して、中学生女子を除いて、僅かに低下しました。また、肥満割合においては、小学生男子を除いて、全国の傾向と同様に増加しました。これらの要因として、コロナ禍による運動できる内容に制限がかかったり、中学校の部活動を中止したりしたことによる運動量と食生活のバランスが崩れたことではないかと推察しています。 ・部活動の充実を図るため、部活動指導協力員を1人配置しました。今後、令和5年度から段階的に実施される、休日部活動の地域移行への準備を進める必要があります。 ・学校給食において、シイタケなどの地元食材を活用するとともに、その生産過程について学ぶなどの食育を実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力向上を図るため、魅力ある体育授業づくりを継続していきます。 ・関係課等と連携し、令和5年度から段階的に実施される、休日部活動の地域移行へ向けた準備を進めます。 			

主要施策4	特別支援教育の充実	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にそれぞれ支援員（小学校5人・中学校2人）・介助員（小学校9人・中学校4人）を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒に対する適切な指導・支援を行うことができました。 ・教職員研修会において、特別支援教育に係る内容の研修を実施し、教職員の資質向上を図りました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒に対する適切な指導・支援を行うために、引き続き、支援員・介助員を配置するとともに、教職員の資質向上のための研修会等を実施します。 			

主要施策5	いじめ・暴力・不登校のない学校づくり	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に心の教室相談員を配置するなど、教育相談体制の充実を図りましたが、不登校児童生徒数が多い現状があります。 ・Q U 調査（児童理解調査）は、その結果をもとに校内研修会を行うことで、より良い学級集団作りに生かすことができました。 ・いじめアンケート等については、学期に1回以上実施し、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に努めました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒への支援が途切れることがないよう、これまで配置がなかった3月にスクールカウンセラー配置を行います。 ・引き続き、学期に1回以上のいじめアンケート調査等を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、Q U 調査（児童理解調査）を実施して児童生徒の状況把握とより良い学級集団作りに取り組みます。 			

主要施策6	子どもたちの安全・安心の確保	所管課	教育課・産業建設課・総務課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町学校安全体制整備協議会（地域連携の場）を立ち上げ、各地区における危険箇所を再点検し、専門家から見た危険箇所（交通安全危険箇所・防犯危険箇所）の洗い出しについて協議しました。 ・小中学校における新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校では体育館に赤外線灯油ヒーター3台の購入、西プレハブ1教室へ空調機の増設、サーキュレーター50台を購入し各教室へ設置、児童検温消毒一体型体温計の購入、仕切り用アクリル板等の購入を行いました。また、中学校では空気循環式紫外線清浄機18台を購入し各教室へ設置、仕切り用アクリル板等の購入を行いました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。 ・事件情報等について、教育委員会を通じ各学校と情報共有を行いました。 <p><総務課・産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各管理者で必要な対策としてカーブミラーの新設、側溝蓋設置等を行いました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全を確保するため合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行き、対策の改善・充実に取り組みます。 ・登下校時における子どもの安全を守るため、学校・教育委員会、警察、自治体、家庭、地域の団体等の連携による安全推進体制の見直し・強化に取り組みます。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、防犯協会、交通安全協会等の関係機関等と連携し、有事の際の迅速な情報共有など、連携強化に努めます。 <p><総務課・産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町通学路交通安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者で必要な対策を講じます。 			

主要施策7	教職員の資質向上	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校全ての教員が、北勢教育支援事務所の指導主事を招聘した個人授業研を実施しました。 ・教職員の資質向上のため、関係機関との連携や発達検査結果の見方・とらえ方及び今年度から中学校区への配置が始まった、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用に係る研修会を開催しました。 ・また、職員会議や校内研修の中で、三重県教育委員会が作成したコンプライアンス・ミーティング研修資料を元に他人事ではなく、自分事としてとらえ、規範意識向上のための取組を実施しました。併せて、管理職に対しては、三重県教育委員会が作成した管理職マニュアル「不祥事の未然防止に向けて」を活用し、教職員の不祥事根絶に向けた取組の一層の推進を図りました。 ・ICTの活用については、三重県教育委員会等が主催する研修会の案内を周知し、積極的に参加するよう依頼をしました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、北勢教育支援事務所の指導主事を招聘する個人授業研を実施するとともに、資質向上を図るための教職員研修会を開催します。 			

主要施策8	学校防災への取り組み	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づき、小学校では、4月（地震）、9月（火災）、10月（園と合同開催、地震・津波）、1月（地震・火災）に、また中学校では、4月（地震）、9月（地震・火災）に、事前・事後指導の中で三重県教育委員会が作成した防災ノートを活用し、避難訓練を実施しました。 ・小学校では、緊急引き渡し訓練を実施しました。 ・中学校では、消防署と連携し、5月に1年生を対象とした防災教室を実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の防災に対する意識を高めるために、引き続き、避難訓練、防災教室等を実施します。 			

主要施策9	地域とともにある学校づくり	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・「朝日町立学校に設置する学校運営協議会の組織及び運営に関する規則」を4月1日から施行し、小学校及び中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置しました。 ・小中学校ともに、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を2回開催し、学校運営の成果や課題等について共有するとともに、地域とともにある学校づくりについて意見交換をすることができました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを活用し、「学校から地域への積極的な情報提供」「学校と地域の協力体制の充実」「学校の活性化」等の取り組みを丁寧に継続していくことで、「家庭教育力の向上」「地域教育力の向上」「地域の活性化」といった成果につなげられるよう、地域とともにある学校づくりを推進します。 			

主要施策10	学校施設の充実	所管課	教育課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町公共施設個別施設計画が策定され、課題であった小中学校のトイレ改修工事の見通しが立ちました。 ・児童の健康と安全を確保するため、老朽化した小学校給食食器を令和3年度から令和6年度まで、毎年1種類ずつ更新することとし、カレー皿980枚を購入しました。 			
※【実施計画】小学校給食食器購入事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校において、令和2年9月より開始された給食をワゴン車で運搬する際、渡り廊下の床面及び昇降口のタイル部分が滑るため、生徒の安全確保対策として滑り止め工事を実施しました。 			
※【実施計画】中学校渡り廊下床面・昇降口タイル滑り止め対策事業			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化及び新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中学校トイレ改修工事設計を委託します。 			
※【実施計画】中学校トイレ改修事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き小学校給食食器の更新として、菜皿960枚を購入します。 			
※【実施計画】小学校給食食器購入事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・リース期間満了に伴い、より高度な電子黒板に更新しリース契約を行います。 			
※【実施計画】小中学校電子黒板リース事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校における働き方改革推進のため、学校給食会計を公会計化にします。 			
※【実施計画】学校給食公会計導入事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ強化のため小中学校のホームページを更新します。 			
※【実施計画】小中学校HP更新事業			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力状況調査の標準化得点 (平均を100としたもの)の全国との比較	小6 103.0 中3 103.5	目標値	小6 103.5 中3 104.0	小6 103.5 中3 104.0			小6 105.0 中3 105.0
		実績値	小6 103.0 中3 103.5				
体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもの割合(各学年男女平均)*	小5 78.2% 中2 79.8%	目標値	小5 80.0 中2 80.0	小5 80.0 中2 80.0			小5 85.0 中2 85.0
		実績値	小5 69.3 中2 79.5				
コミュニティ・スクールの設置	未設置	目標値	設置済	-			設置済
		実績値	設置済				
トレイの洋式化・多機能トイレの整備	一部整備	目標値	-	中学校トイレ改修設計済			整備済
		実績値	-				
照明器具のLED化率	0%	目標値	-	-			100%
		実績値	-				
老朽化に伴う大規模改造	一部整備	目標値	-	-			老朽箇所整備済
		実績値	-				

*スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における総合評価が「A」・「B」・「C」・「D」・「E」の5段階のうち上位3段階である「A」・「B」・「C」の公立小中学校の割合。

2-2 国際社会に向けた人材育成

施策の目指す姿

○国際的な課題の理解や英語コミュニケーション能力を養う学習機会、さらに国内外における異文化体験や国際交流等の機会が進み、国際社会に対応できるグローバル人材が育っています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	国際社会に向けた人材育成	所管課	教育課・あさひ園・生涯学習課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><教育課> 英語コミュニケーション能力を養うため、A L T を小中学校にそれぞれ1人、外国語活動指導員を小学校に1人配置するとともに、小学校に配置のA L T については、あさひ園での園児との交流を定期的に行いました。</p> <p><あさひ園> ・年間8回外国人英語指導助手を招き、季節の応じた歌や遊びなどから多文化に触れる感覚を養うことができました。</p> <p><生涯学習課> ・公民館教室において外国人講師を招いた、英会話教室を月1回程度開催しました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><教育課> ・英語コミュニケーション能力を養うため、引き続き、A L T を小中学校にそれぞれ1人、外国語活動指導員を小学校に1人配置します。</p> <p><あさひ園> ・小学校への接続という観点から、学びの継続性を重視し事業を継続します。</p> <p><生涯学習課> ・引き続き、公民館教室において外国人講師を招いた、英会話教室を月1回程度開催します。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
外国人英語指導助手 (ALT) によるあさひ園での交流回数	9回	目標値	9回	9回			10回
		実績値	8回				

2-3 青少年の健全育成

施策の目指す姿

○家庭や地域が一体となって青少年の見守りや、育成のための様々な体験機会が創出されるなどして、健やかで活力ある青少年が育っています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	青少年活動の促進	所管課	生涯学習課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日町青少年育成町民会議を主体とし、各種団体の連携に努めているがコロナ禍により各種団体の活動が通常通りできない状況が続きました。また、町民会議自体の主な活動場所がサマーフェスタとなっていることから、現状感染症の影響を考えると、代替できる活動内容を検討する必要があります。</p> <p>・子ども会についても感染症対策を考慮した代替行事の調整を行いました。開催には至りませんでした。来年度以降コロナ禍でもできる活動を検討する必要があります。</p> <p>・放課後子ども教室は小学1年生を対象に年間10回開催しました。こちらも感染症の状況を考え現在は縮小した活動となっていますが、来年度より徐々に通常に戻した活動としていく必要があります。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・朝日町青少年育成町民会議についてはサマーフェスタでの啓発活動の代替として、町文化祭において同様の啓発活動を行えるよう検討します。なお、夏休み補導活動については町補導活動が再開に向け準備を進めているため、夏休み補導についても感染症対策を講じながら再開していく予定です。</p> <p>・子ども会については、できる限りコロナ前の行事数を行えるよう感染症対策を講じながら活動していきます。なお、現時点で7事業を開催予定です。そのうち、1事業は他団体と連携し、あさひ竹プロジェクトの一環として実施される「竹水鉄砲合戦」を計画中です。</p> <p>・放課後子ども教室は、感染症の状況を考慮しながらできる限りコロナ前に戻した形で開催するため、対象者を小学2年生まで拡大し、募集定員を増やしていきます。また、働いている保護者の方でも申し込みやすい方法を検討します。さらには、地域学校協働活動推進員の設置や放課後児童クラブとの連携を検討します。</p>			

主要施策2	青少年育成環境の充実	所管課	教育課・生涯学習課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><教育課></p> <p>・ネットモラル教室「スマホ・インターネットの 安全で正しい使い方」を小学6年生・中学1年生を対象に実施しました。</p> <p><生涯学習課></p> <p>・少年補導員の夜間パトロールをコロナ禍において6回活動しました。</p> <p>・「あさひ・子ども110番の家」への加入増加数は1人であり、今後も啓発活動をしていく必要があります。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><教育課></p> <p>・児童生徒のネットモラルに対する意識を高めるために、引き続き、ネットモラル教室を実施します。</p> <p><生涯学習課></p> <p>・学校、警察など関係機関との連携を密にして、パトロール活動など補導体制の強化を図ります。</p> <p>・「あさひ・子ども110番の家」への加入促進を図ります。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
放課後子ども 教室年間平 均参加者数	19人	目標値					現状維持 以上
		実績値	14人				
子ども会他 団体と連携 した行事数	2行事	目標値	1行事	2行事			5行事
		実績値	0行事				
補導件数	0件	目標値					0件
		実績値	0件				
あさひ・子ども 110番の家 の加入者数	92人	目標値	95人	100人			120人
		実績値	94人				

2-4 生涯学習の推進

施策の目指す姿

- 町民の一人一人が充実した人生を送れるよう、年齢にかかわらず生涯において、自分に合ったテーマで、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会に恵まれ、生き生きとした学習活動が展開されています。
- 生涯学習で学んだ成果を地域や社会で生かすとともに、自らも学習機会の担い手として活躍しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	生涯学習の推進	所管課	生涯学習課・文化課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが感染症対策を講じ、公民館活動は9教室活動ができました。そのうち新規教室を2教室開催することができました。また、1月より新規教室開催に向けた講師登録制度を設けることができました。固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。 ・今年度は夏休み期間中に小学生を対象とした夏休み対策講座を新たに開催しました。 <p><文化課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、博物館については、コロナ禍においても利用者が安心して学習機会の維持・確保できるよう感染症対策を実施し、開館しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時期の検討を行います。 ・夏休み期間中に開催する小学生を対象とした夏休み対策講座については、内容や開催時期、回数を検討し継続的に開催していくとともに、子どもを対象とした講座を増やしていきます。 <p><文化課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、図書館、博物館については、コロナ禍においても利用者が安心して学習機会の維持・確保できるよう感染症対策を実施し、開館します。 			

主要施策2	図書館の充実	所管課	文化課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館があったが、貸出者数13,476人、貸出冊数71,883冊でした。また、読書環境の整備として、図書1,206冊を購入しました。 ・夏休みの子どもの来館を促すため、自由研究に役立つ本の紹介や子ども向け教室を実施しました。 ・臨時休館となった期間に、住民の読書の機会を確保するため実施した宅配サービスは95人が利用し、合計635冊の宅配を行いました。 ・屋外やエントランスを活用した空間づくりとして、図書館の本を気軽に楽しめる「陽だまりテラス」を実施しましたが、参加者の固定化が課題として残りました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動支援事業として、子ども向けの蔵書整備や本に親しむための事業の展開を進めます。 <p>※【実施計画】子どもの読書活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況によるが、現在は閉鎖している視聴覚コーナーの再開を検討します。 ・屋外やエントランスを活用した空間づくりとして、図書館未利用者の利用促進に繋がる事業の実施を検討します。 			

主要施策3	博物館の充実	所管課	文化課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月展示替えを行うことで常設展の充実を図りました。 ・企画展「橘守部－国学研究と門人たち－」(会期:令和3年11月13日～12月12日)を開催し、会期中573人の入館がありました。 <p>※【実施計画】博物館展示会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書学習会(全7回)及び文化教養講座(全3回)を企画し、古文書学習会は全7回実施した一方、文化教養講座は新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等により3回中2回を中止し、1回の実施にとどまりました。なお、受講者数は古文書学習会がのべ158人、文化教養講座が23人となりました。 ・俳句作品展「未来の俳人たち」を2回開催し、朝日小学校児童及び朝日中学校生徒による作品の展示を実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き毎月の展示替えを行うことで常設展の充実を図ります。 ・企画展「縄生廃寺展」(仮)を実施します。 <p>※【実施計画】博物館展示会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書学習会(全7回)及び文化教養講座(全3回)を実施します。 ・俳句作品展を2回開催します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
公民館利用者数	8,893人	目標値	6,500人	6,500人			9,000人
		実績値	5,828人				
博物館年間来館者数	4,431人	目標値	1,150人	1,300人			5,500人
		実績値	1,078人				
図書館の年間図書貸出冊数	75,682冊	目標値	63,000冊	72,000冊			82,000冊
		実績値	71,883冊				
教育委員会公民館教室の教室数	11教室	目標値	→				現状維持以上
		実績値	9教室				

2-5 スポーツの振興

施策の目指す姿

- 町民の誰もが目的や体力、年齢に応じてスポーツに親しみ、心身の健康と生きがいある生活を楽しんでいます。
- 運動施設の充実と指導者の確保が進み、スポーツ団体の活動が活発に行われ、多くの町民が参加しているスポーツのまちが実現しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	スポーツの振興・普及	所管課	生涯学習課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により体育協会行事も開催が難しく、町民ソフトボール大会のみの開催となりました。 ・朝日町体育協会の各専門部においては感染症対策を講じながら、徐々に活動を行なってもらえるよう国・県からの情報を提供するなど支援を行いました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じながら、町民ソフトボール大会等計画された事業が開催されるよう活動場所、情報の提供など支援を行います。 			

主要施策2	スポーツクラブの活動支援	所管課	生涯学習課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブについては、先進的に活動している他市町のクラブの訪問を受け、意見交換を行い、現状の「あさひふれあいスポーツクラブ」の課題抽出を実施しました。また、感染症対策を講じながら、徐々に活動を行なってもらえるよう国・県からの情報を提供するなど支援を行いました。 ・体育協会の各専門部においては感染症対策を講じながら、徐々に活動を行なってもらえるよう国・県からの情報を提供するなど支援を行いました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブについては計画された事業が実施できるよう国・県などからの情報を提供していきます。また、必要であれば相談支援についても行っていきます。 ・体育協会の各専門部については感染症対策を講じながら、町民ソフトボール大会等計画された事業が開催されるよう活動場所、情報の提供など支援を行います。 			

主要施策3	運動施設の維持管理	所管課	生涯学習課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ活動等が円滑に実施できるよう運動施設の適切な維持管理を行い、計画的な改修、修繕を実施しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ活動等が円滑に実施できるよう運動施設の適切な維持管理を行い、計画的な改修、修繕を実施します。また、朝日町体育館については照明のLED化にも取り組みます。 <p>※【実施計画】体育館設備等改修事業</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
各種スポーツ大会（朝日体育協会主催）の参加者数	630人	目標値	80人	300人			760人
		実績値	50人				

2-6 歴史・文化の継承と活用

施策の目指す姿

- 貴重な歴史的・文化的資源が大切に保全され、この資源の活用による町民の歴史・文化意識の高揚と地域活性化が進んでいます。
- 文化財の展示や歴史・文化にかかわる学習が活発に行われ、さらに芸能・芸術活動も盛んで文化の香り高いまちづくりが進んでいます。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	文化財の保護と活用	所管課	文化課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・古文書学習会(全7回)及び文化教養講座(全3回)を企画し、古文書学習会は全7回実施した一方、文化教養講座は新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等により3回中2回を中止し、1回の実施にとどまりました。なお、受講者数は古文書学習会がのべ158人、文化教養講座が23人となりました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・古文書学習会(全7回)及び文化教養講座(全3回)を実施します。</p> <p>・今後も朝日町の歴史・文化を発信できるテーマなどで事業内容を検討します。</p>			

主要施策2	町史の編さん	所管課	町史編さん課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・令和3年度より編さん事業は進捗管理を適切に行うため、専門業者へ委託しました。</p> <p>・橘守部編においては6回の執筆者会議を実施し、掲載資料の検討等を行いました。併せて資料調査や筆耕作業を実施しています。また、通史編・別編においては3回の執筆者会議を実施し、通史編の目次案の検討などを行い、町内における動植物の生態調査や資料調査を実施しました。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大により計画していた講演会を延期しました。これにより編さん事業における調査成果を周知することが出来ませんでした。</p> <p>※【実施計画】町史編さん事業</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・橘守部編においては令和4年度末を目途に入稿へ向けて、筆耕作業や資料調査を継続すると共に、目次の検討を行い、執筆作業を実施します。また、通史編・別編においては誌面デザインや構成の検討を行い、資料調査や執筆作業を進めます。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大により延期としてきた講演会等を実施し、編さん事業における調査成果を周知していきます。</p> <p>※【実施計画】町史編さん事業</p>			

主要施策3	文化・芸術活動の推進と継承	所管課	生涯学習課
■令和3年度の進展度		C	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題（3月末時点）			
<p>・コロナ禍ではあったが感染症対策を講じ、公民館活動は9教室活動ができました。そのうち新規教室を2教室開催することができました。また、1月より新規教室開催に向けた講師登録制度を設けることができました。固定化、高齢化が進んでいるため新規教室を積極的に開講していく必要があります。</p> <p>・町文化祭については新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止としました。準備を進めていた団体には、発表の場を提供できるよう支援したことにより、1団体であるが朝日町公民館にて発表会を開催することができました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・講師登録制度を引き続き実施し、新規教室（できれば若い世代が参加できるような）をできる限り開催していくため、内容や開催時期の検討を行います。</p> <p>・2年間中止となった町文化祭については感染症対策を講じながら、開催に向けて準備を進めていきます。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
博物館年間来館者数【再掲】	4,431人	目標値	1,150人	1,300人			5,500人
		実績値	1,078人				
博物館ホームページ年間アクセス数	22,501件	目標値	18,500件	22,000件			23,000件
		実績値	21,572件				
団体の発表会・展示会等の開催回数	3回	目標値	1回	2回			4回
		実績値	1回				

3-1 防災・消防の充実

施策の目指す姿

- 南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々な態様の風水害などから町民の生命と財産及び生活を守るため、災害に強いまちづくりを行い、平常時における準備や、災害発生時に迅速な対応ができる基盤と仕組みが整っています。
- 「自助（自分の命は自分で守る）」、「共助（自分達の地域は自分達で守る）」の推進、さらに「公助（行政機関による救助活動や物資の支援など）」により、町全体の防災力が強化されています。
- 四日市市消防本部と消防団が連携し、火災や災害など非常時に組織的かつ専門的に対応できる消防・救急体制が整っています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	災害に強いまちづくりの推進	所管課	防災保全課・産業建設課・総務課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害備蓄品の計画的な更新や充実、避難所運営マニュアルへの感染症リスクの定義づけなどの防災事業においては、予定とおり取り組みました。 ・高潮ハザードマップ策定に関しては、防災ハザードマップを全面改正する形で令和3年度に完了しました。今後、令和4年4月に各家庭に配布し、浸水ハザード等の周知に努めます。 <p>※【実施計画】高潮ハザードマップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者関連事業においては、自治区班長会へ出向き、制度や自治区協力の必要性などの説明を実施しました。しかし、個別避難計画の作成における支援の必要性や支援者の発掘（登録）など、令和4年度に改めて班長会に出向き、制度の詳細な理解を求める必要があります。 ・大規模風水害の発生が予想され、広域避難が必要となる際に、三泗地区1市3町及び県が相互に協力して実施する広域避難について検討する「三泗地区1市3町の広域避難に関する会議」に参加しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町を含む2市3町から構成される員弁川改修事業促進期成同盟会より、河川改修事業の促進等について三重県に要望を行いました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想策定事業については、委員会を当初4回開催して基本構想を策定する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により3回の開催となり基本構想が完成しなかったため事業を翌年度に繰り越しました。また、建設候補地選定や新庁舎の機能等の議論の多様化により委員会の開催予定回数を6回と計画変更しました。 <p>※【実施計画】新庁舎建設基本構想・基本計画策定事業</p>			

■ 令和4年度の取り組み方向	
<p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害備蓄品の更新や充実などは、引き続き計画的に実施します。また、「防災」は日々変化するため、タイミングを見計らい迅速な対応をしていきます。 ・避難行動要支援者関連事業においては、改めて班長会に出向き、制度の詳細な説明を行い、支援者の発掘（登録）、個別避難計画の作成を縄生・小向地区でにおいて実施します。 ・朝日Sアラートから気象情報の配信、リンク集、ハザードマップ掲載などのカテゴリ追加を令和4年度中に行い機能拡充します。 ・「三四地区1市3町の広域避難に関する会議」に引き続き参加し、三四地区での災害時の広域避難に関する協定の締結に向けて進めていきます。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりの推進に寄与するため、員弁川改修事業促進期成同盟会より河川改修事業の促進等について、三重県に要望を行います。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想策定事業については、引き続き実施して令和4年度中で完成となるよう取り組みます。 	

主要施策2	消防・救急体制の充実	所管課	防災保全課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・公設消防（四日市市北消防署朝日川越分署）とは、継続的な情報交換や連携訓練を行ってきましたが、コロナ禍前と比べると縮小していることは否めません。 ・消防団事業においては、コロナ禍のため縮小して訓練等を実施しました。コロナ禍により訓練等の実施は制約があるため、通常の訓練が実施できないことが課題です。 ・消防車庫は計画的に更新するとともに、第1分団消防車庫については借地権者の要望により移設整備を行うことから設計業務を委託し完了した。新型コロナウイルス感染症の影響により材料等の価格が高騰しているため、設計内容の照査が必要です。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・公設消防（四日市市北消防署朝日川越分署）とは、引き続き継続的な情報交換や連携を図ります。 ・消防団事業においては、コロナ禍のため縮小して実施するなど有事に備えた準備を継続します。 ・消防団員の確保のため、他市町から情報収集を行い、待遇の改善等に努めます。 ・第1分団消防車庫については、建設資材等の価格高騰による財源への圧迫を考慮し、建設費用の照査を行い整備します。 			

主要施策3	地域防災力の向上	所管課	防災保全課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・避難判断の改正など、住民への情報提供などは変化がある都度、情報発信するなど努めました。 ・本年度実施予定であった防災講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化する事業であるため、新たな制度や情報を把握したら、住民への迅速に周知し知識向上を図ります。 ・自主防災隊自らが行う避難所運営の訓練を中心とし、町と地域住民の相互協力体制の緊密化及び住民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることを目的とした防災訓練を実施します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
高潮ハザードマップの作成	検討中	目標値	策定中	—			
		実績値	完了				
朝日Sアール登録者数	1,082人	目標値	1,200人	1,500人			2,200人
		実績値	2,222人				
情報受信端末の整備	検討中	目標値	検討中	事業中止			整備予定
		実績値	方向性の修正				
防災拠点への公衆無線LAN設備の設置	未設置	目標値	検討	検討			設置予定
		実績値	未設置				
避難行動要支援者避難援助プラン（個別計画）の策定	準備中	目標値	事業継続	事業継続			随時更新
		実績値	事業継続				
消防水利の整備（水利包含率）	100%	目標値					維持
		実績値	100.0%				
消防団員定数の充足率	100%	目標値					維持
		実績値	95.2%				

3-2 防犯・交通安全の充実

施策の目指す姿

- 町民一人一人の防犯、交通安全及び消費者問題に関する意識・知識が高まり、地域団体、警察、行政が一体となって、誰もが安全で安心して暮らしやすいまちづくりが進んでいます。
- 防犯設備や交通安全設備が適正に整備、維持管理され、犯罪や交通事故が発生しにくい安全で安心な町が形成されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	防犯意識の高揚と防犯活動の充実	所管課	総務課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・警察、防犯協会等の関係機関と連携し、広報活動等を通じて防犯意識の高揚に向けて啓発を行いました。 ・地域防犯力の向上に向けた各地区「みまもり隊」との地域連携の場を設けるため、朝日町学校安全体制整備協議会の設置に向けた庁内協議を行いました。 ・事件情報等について、警察等の関係機関と情報共有および連携を行いました。 ・防犯に関する情報発信を町ホームページ、町広報紙への記事掲載、回覧等で行いました。 ・防犯カメラ導入に向けて導入計画（案）を作成し、具体的な設置箇所の選定が完了しましたが、防犯パトロールに関しては令和4年度に運用開始予定の朝日交番（仮称）との連携を図ることとしました。 ・民間事業者主導による町内の主要道路や河川へのライブカメラの設置に向けて、具体的な協議及び運用開始に向けた調整を行いました。 ・朝日交番（仮称）運用開始に向けて、警察本部及び四日市北警察と連携を図りました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き警察、防犯協会等の関係機関と連携し、情報共有及び広報活動等の連携強化に努めます。 ・朝日町学校安全体制整備協議会を通じ、地域防犯力の向上に向けた課題検討を行います。 ・事件情報及び防犯情報等の情報発信を各種媒体で行います。 ・防犯カメラ設置に向けて、要綱等の整備及び地域住民への説明を行い、防犯カメラ（3基）の設置を行います。 <p>※【実施計画】防犯カメラ設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール導入に向けて、朝日交番（仮称）との連携を図りながら導入計画の策定を行います。 ・朝日交番（仮称）運用開始に向けて、警察本部及び四日市北警察と引き続き連携を図ります。 			

主要施策2	交通安全対策の推進	所管課	総務課・教育課・産業建設課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> 警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等の活動を行いました。 交通安全施設の設置及び維持・修繕について、自治区からの要望等を受けてカーブミラーの新設、改良、更新及び修繕工事を計16箇所行いました。 <p><総務課・産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日町通学路安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望内容の精査を行い、各管理者で必要な対策としてカーブミラーの新設、側溝蓋設置等を行いました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故を防止することを目的に交通安全設備の整備等を推進するため、「朝日町学校安全体制整備協議会」の設置及び「朝日町登下校安心安全プラン」を作成することができました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、街頭指導等を含め連携強化に努めます。 交通安全施設の設置及び維持・修繕について、各地区の意向を踏まえ実施します。 <p><総務課・産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝日町通学路交通安全推進会議において、PTA等関係機関からの課題・要望の把握に努め、各管理者で必要な対策を講じます。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り活動の維持・活性化のためには、参加者が負担を感じることなく、無理なく誰でも参加できるように新たに組織された「朝日町学校安全体制整備協議会」の場を活用し、各地区の実情に合わせた見守り体制について協議・検討をしていきます。 			

主要施策3	消費者の安全・安心の確保	所管課	産業建設課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害未然防止のため、町広報紙等による啓発を実施しました。 消費者被害未然防止及び被害発生後の適切な対応のため、産業建設課窓口で20件の相談を受け付けました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> 自立する消費者の育成に向け、広報やパンフレット配布など被害予防のための啓発を行います。 引き続き、消費者被害未然防止及び被害発生後の適切な対応ため、県消費者センターと連携を図り、相談体制の充実を図ります。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
刑法犯認知件数	80件	目標値	76件	71件	/	/	60件
		実績値	65件	/	/	/	/
交通事故発生件数（人身事故）	31件	目標値	29件	27件	/	/	23件
		実績値	13件	/	/	/	/

3-3 都市基盤の整備・充実

施策の目指す姿

- 町内外の交流の活性化や町内交通の円滑化のため幹線道路、生活道路が整備、維持管理されており、誰もが安全で快適な道路や歩道が形成されています。
- 多様な世代が快適な暮らしを送ることができる住環境が形成され、誰もが住み続けたいと思える町となっています。
- 公園については、子どもの遊び場、大人の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、町民と協働した維持管理がなされています。
- 安全で良質な水が安定供給され、下水の適正処理により衛生的で快適な生活環境が保たれています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	道路・交通網の充実	所管課	産業建設課・保険福祉課・防災保全課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道1号北勢バイパス及び県道桑名川越線の早期完成に向けて、関係市町と連携して国及び三重県に要望活動を行いました。 ・適正な道路機能を維持するため、道路パトロールを行うとともに、舗装修繕等を計画的に進めました(街路灯LED13基更新による事業完了)。 ※【実施計画】1・2級町道等舗装事業、街路灯LED化事業 ・歩行者の安全性を確保するため、町道3-3号線(東海道柿・小向区間)のカラー舗装を実施しました。 ※【実施計画】東海道まちなみ整備事業 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者に配慮した地域特性に応じた利便性の高い移動手段の確保については、高齢者に対しては75歳以上に対してタクシー利用助成、障がい者に対してはタクシー利用助成もしくは燃料費助成を行いました。高齢者タクシー利用助成については登録者数が対象者数の30%を目標としているが、9月末時点と同様実情25%に留まりました。より登録や利用につながるよう制度を改善する必要があります。 ※【実施計画】高齢者タクシー利用助成事業 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅前駐輪場に関しては、適正利用をいただくようにポケットパークを含め維持管理を継続して実施しました。JR朝日駅ポケットパーク駐輪場に関しても、景観を含め良好な状態であるが、利用者のモラル向上が必須です。 			

■令和4年度の取り組み方向	
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、国道1号北勢バイパス及び県道桑名川越線の早期完成に向けて、関係市町と連携して国及び三重県に要望活動を行います。 ・適正な道路機能を維持するため、道路パトロールを行うとともに、舗装修繕等を計画的に進めます。 <p>※【実施計画】1・2級町道等維持修繕事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全性を確保するため、引き続き町道3-3号線（東海道小向・縄生区間）のカラー舗装を実施します。 <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業</p> <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者に配慮した地域特性に応じた利便性の高い移動手段の確保については、高齢者に対しては75歳以上に対してタクシー利用助成、障がい者に対してはタクシー利用助成もしくは燃料費助成を行います。 ・いずれの制度についても、1乗車につき650円の乗車券1枚までしか使えない制度でしたが、令和4年度より1乗車につき500円の乗車券2枚まで使えるよう制度を改善します。また、年間交付枚数も最大24枚から最大48枚へと制度の改善を行い、登録・利用につながるよう努めます。 <p>※【実施計画】高齢者タクシー利用助成事業</p> <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄伊勢朝日駅前駐輪場、JR朝日駅ポケットパーク駐輪場の両駐輪場とも引き続き良好な状態となるように維持管理を行うとともに、利用者のモラル向上に向けた啓発を行います。 	

主要施策2	良好な住宅環境の推進	所管課	企画情報課・産業建設課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、9件の申請を受け付け、適正な指導を実施しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の安全性の向上に取り組むため、住宅の耐震診断や除去などへ誘導する広報等を実施しました。その結果、耐震診断6件、除去4件を支援しました。 <p>※【実施計画】木造住宅耐震補強事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町空家等対策計画に基づき、空家相談会を2回実施しました。また、朝日町空家等対策計画の定期見直しに伴い、改訂版を策定しました。改訂版の策定にあたり空家調査を実施し、調査結果（空家件数153件）を反映させるとともに今後の空家対策の具体的な取り組みを示しました。今後、計画に基づき空家の利活用及び除去等に取り組む必要があります。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為許可申請について、引き続き、適正な指導を実施します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の安全性向上のために、耐震化の必要性などについて啓発を実施するとともに、耐震診断及び除去等について支援を実施します。 <p>※【実施計画】木造住宅耐震補強事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町空家等対策計画（改定版）に基づき、空家の利活用を図るため空家バンク構築を検討します。 <p>※【実施計画】空家等対策事業</p>			

主要施策3	公園・緑地の整備	所管課	企画情報課・防災保全課・町民環境課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町都市公園等清掃奉仕活動助成金交付要綱に基づく、申請が6団体あり、公園の維持管理（清掃）が実施されました。申請団体数が目標値未達であり少ないのが課題となっています。 ・公園整備として、新起公園、北条公園の樹木伐採、名谷公園の史跡案内板の更新、展望公園の東屋の簡易修繕を実施しました。 ・四日市広域緑の基本計画の見直しを実施し、3月に策定しました。見直した計画に準じた整備、取り組みを進めていく必要があります。 <p>※【実施計画】緑の基本計画策定事業</p> <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の憩いの場として、ふれあいパークの適正な維持管理を行いました。芝生管理用の散水栓など、調整が必要な箇所もあります。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地公園については、令和4年3月議会において令和4年度からの維持管理にかかる指定管理者の指定を行いました。また、町民ニーズに対応するため、令和3年8月21日に人形供養祭を開催し123名の来園者がありました。さらには、墓地を有する大字自治区長を対象に墓地に関する勉強会を開催し、知識を深めました。一方で、令和4年3月に墓地販売促進のため町外へ1万枚の新聞折込みを実施しましたが、墓地に対する考え方が多様化しており販売実績が鈍化していることが課題です。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町都市公園等清掃奉仕活動団体の申請数を増加させるための啓発を行います。 ・公園整備については、展望公園の東屋修繕と梅が丘第2公園の樹木伐採を実施するとともに、維持管理が進むよう適切な修繕等に努めます。 ・四日市広域緑の基本計画を見直したことにより、計画準じた整備の検討、実行に取り組みます。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、住民の憩いの場として、ふれあいパークの適正な維持管理を行います。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地に対する考え方が多様化しているためニーズを把握するとともに、販売促進活動を継続します。また、社会情勢の変化や生活様式に適応した墓地公園の管理運営を行います。 			

主要施策4	安全で良質な水の安定供給・下水道事業の安定化	所管課	上下水道課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><上水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽管更新整備事業は、老朽化した配水管（内径50mm～100mm、延長1,006.2m）の布設替えを行いました。また、来年度施工予定している、配水管布設替工事の早期発注を目指し、測量・設計を行いました。 ※【実施計画】老朽管更新整備事業（測量・設計・工事） ・上水道基幹幹線耐震整備事業は、老朽化した基幹水道管である導水管（内径250mm、延長173.8m）の布設替えを行いました。 ※【実施計画】上水道基幹幹線耐震整備事業 ・第3次拡張変更認可申請事業は、計画給水人口を10,800人から12,600人とする認可変更を行いました。 ※【実施計画】第3次拡張変更認可申請事業 <p><下水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策事業は、下水道施設の詳細診断を行い、地震対策必要箇所の洗い出しを行った結果を踏まえ、後続の詳細設計（優先度Ⅰ）の令和4年7月完成を目指します。 ※【実施計画】下水道総合地震対策事業 ・ストックマネジメント計画事業は、これまでの管渠調査等による実績を加味した、管渠改築・更新計画を策定した結果、早急に対応する必要がある管渠（判定A）がないことから、通常の維持管理へ移行します。今後は耐用年数50年を迎えた管渠より順次SM計画を改定します。 ※【実施計画】ストックマネジメント計画事業 ・下水道事業計画（認可）変更業務は、効率的な事業実施のための（変更）計画策定業務委託により、企業誘致（川原地区）箇所等について下水道計画の見直しを行い、下水道区域へ編入しました。 ※【実施計画】下水道事業計画（認可）変更業務 ・公共下水道事業地方公営企業法適用事業は、将来にわたり安定した下水道事業の推進を図るため、不明工事調査・間接費や財源の配分・工事別資産明細の作成、勘定科目設定・法適用年度の予算調整・打切り決算の概要、例規整備・システム導入等の打ち合わせを行いました。 ※【実施計画】公共下水道事業地方公営企業法適用事業 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><上水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽管更新整備事業は、引続き計画に基づいて、配水管布設替工事、配水管布設替測量・設計を行います。 ※【実施計画】老朽管更新整備事業 <p><下水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策事業は、詳細設計を実施し、その成果をもって、工事を行います。 ※【実施計画】下水道総合地震対策事業 ・下水道事業業務継続計画（BCP）を作成します。 ※【実施計画】下水道事業業務継続計画（BCP）策定事業 ・公共下水道事業地方公営企業法適用事業固定資産調査及び台帳作成業務・法適用移行事務支援・公営企業会計システム導入等を完了させ、令和5年度より下水道事業の法適用を行います。 ※【実施計画】公共下水道事業地方公営企業法適用事業 			

主要施策5	雨水排水対策の推進	所管課	上下水道課
■令和3年度の進展度		A	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・小向雨水幹線整備事業は、雨水管渠（幅4500mm×高さ1800mm、延長110.0m）の整備を行いました。</p> <p>・雨水管渠の布設に伴い支障となった配水管（内径75mm、延長113.2m）の移設・更新を行いました。</p> <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p> <p>・今後施工予定している下水道管渠詳細設計（延長493m、国道1号並行部から近鉄名古屋線下流部まで）及び下水道管渠国道1号横断に必要な国道1号切回し道路詳細設計（延長300m）を行い、後続工事に備えました。</p> <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・小向雨水幹線事業は、工事、設計を行います。</p> <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p> <p>・小向雨水幹線配水管移設工事については、小向雨水幹線築造工事に併せて、配水管の移設・更新を行います。</p> <p>※【実施計画】小向雨水幹線整備事業</p>			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町道舗装繕率	7.4%	目標値	37.2%	50.5%	/	/	100%
		実績値	35.8%	/	/	/	/
昭和55年以前建築の住宅戸数に占める耐震性のない住宅割合	70.4%	目標値	69.3%	68.8%	/	/	66.9%
		実績値	69.1%	/	/	/	/
公園等清掃協力団体数	8団体	目標値	9団体	9団体	/	/	9団体
		実績値	6団体	/	/	/	/
老朽管の更新件数	3工事/年	目標値	→				現状維持以上
		実績値	3工事/年	/	/	/	/
雨水幹線の改修率	41.4%	目標値	42.1%	42.3%	/	/	42.7%
		実績値	42.1%	/	/	/	/

3-4 計画的な土地利用と景観形成の推進

施策の目指す姿

- 「持続可能な発展」を基本にし、豊かな自然環境、優良農地の保全・活用と市街地形成のための開発とバランスが取れた計画的な土地利用が行われています。
- 自然や歴史・文化などの地域資源を生かし、東海道まちなみ整備の推進による朝日町らしい景観が形成されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	適正な土地利用の推進	所管課	企画情報課・産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町立地適正化計画の一部改定を9月末に実施しました。令和7年度見直しに向けた情報収集、関係機関との調整を行っていく必要があります。 ・企業誘致エリアである埋縄川原地区において、「川原工業地区地区計画」を4月末に策定し、市街化調整区域における適正な土地利用の規制と開発整備の推進を実施しました。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地取引や公共事業の円滑化を図るとともに、災害復旧の迅速化のため、柿地区において計画的に地籍調査を実施しました。 <p>※【実施計画】地籍調査事業</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町立地適正化計画の令和7年度見直しに向けた情報収集と関係機関との調整を図ります。 ・市街化調整区域内での開発案件等があれば、開発整備の必要性について慎重に判断し、適正に対応します。 <p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地取引や公共事業の円滑化を図るとともに、災害復旧の迅速化のため、引き続き柿地区において計画的に地籍調査を実施します。 <p>※【実施計画】地籍調査事業</p>			

主要施策2	良好な景観形成の推進	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取り組みを実施した。また、縄生桜並木完成記念で開催した竹あかりの展示では、町民が作製した竹あかりの展示を行いました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさひ竹プロジェクトの事業を通じて、竹・竹林に関して問題意識を持つ町民有志の方々とのネットワーク構築に繋がっており、町内の竹林整備に向けた組織づくりなどの会議を行いました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・朝日まちなみプランに基づく、東海道沿いの景観向上への取り組みをあさひ竹プロジェクト等と連携して、町民とともに推進します。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の竹林整備に向けた組織づくりを支援します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
朝日町立地 適正化計画 の見直し	—	目標値	一部見直し	—			見直し済
		実績値	一部見直し				
朝日町都市 計画マスタープ ランの見直し	—	目標値	—	—			見直し済
		実績値	—				
町民と連携し竹 等を活用した景 観向上等のイベ ント開催	—	目標値	→				毎年1回以上
		実績値	2回				

3-5 循環型社会の推進と環境保全

施策の目指す姿

- ごみの発生抑制、再利用、再資源化を推進することにより、更なるごみの減量化が図られ、持続可能な循環型社会の形成が進んでいます。
- 地球温暖化防止に向けた環境教育、啓発活動を積極的に推進し、町民、企業、行政の環境意識が向上しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	ごみの適正な収集・処理と減量化の推進	所管課	町民環境課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・ごみの処理体制については、川越町との一部事務組合である環境クリーンセンターによってゴミ収集が行われ、焼却は四日市市クリーンセンターで実施し、広域的な連携のもと効率的なごみ処理が行われました。</p> <p>・ごみの減量、ごみ分別の徹底について、広報4月号（ごみ分別の一部変更）、広報6月号（生ごみを水切りして捨てよう）、7月号（ごみ集積場の清潔保持）、8月号（カン類とスプレー缶類を分けよう、ごみ処理機・処理容器購入に対する補助金）、9月号（生ごみを水切りして捨てよう）、10月号（食品ロスを減らそう）、11月号（家庭ごみを減量しましょう）、1月号（ごみ分別アプリの配信開始のお知らせ、食品ロスを減らそう）、2月号（再生ごみの紙ごみの分別と出し方について）、3月号（スプレー缶類の出し方について）を掲載しました。また、ごみステーションへ看板を設置するとともに、町HPに「ごみ排出量」を掲載し、啓発を図りました。</p> <p>・依然としてルール違反ごみがごみステーションに排出されているので分別の周知、啓発が課題です。</p> <p>・ごみ収集日及びごみの分別方法が簡単に検索できるごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信を開始しました。</p> <p>・ごみの分別方法については、朝日町、川越町、環境クリーンセンターで、今後の方向性について検討を行いました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・引き続き一層のごみの減量、ごみ集積場の適正管理に対して周知、啓発を行います。</p> <p>・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の利用促進に努めます。</p> <p>・ごみの分別方法については、4月1日から施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を踏まえて、引き続き検討を行います。</p>			

主要施策2	ごみの不法投棄の防止	所管課	町民環境課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・不法投棄防止のため、広報5月号（マスクのポイ捨てをやめよう）、7月号（朝日町を美しくする条例の改正のお知らせ）を掲載しました。また、ルール違反ごみに対する注意喚起や看板設置など啓発活動に努めました。</p> <p>・不法投棄が多い地点には移動式監視カメラを設置して再発防止に努めました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・引き続き不法投棄防止に対して周知、啓発をしていきます。また、不法投棄が発見された場合、警察、関係機関と連携をとり、適切に対応していきます。</p>			

主要施策3	環境保全意識の高揚	所管課	町民環境課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日町企業エコネット活動を実施しました（清掃活動・エコ通勤）。今後、朝日町企業エコネット活動の推進が課題です。</p> <p>・町民の快適な生活環境の確保や環境美化意識の向上のために令和3年6月議会において「朝日町を美しくする条例」の一部改正を行いました。</p> <p>・生活環境の保全のため、広報6月号（空き地の管理を徹底しよう）、7月号（イエローチョーク作戦）、8月号（犬のフンは必ず持ち帰りましょう）、11月号（ごみの野外焼却やめてください）を掲載し、また、環境保全に係る看板設置など啓発活動に努めました。</p> <p>・雑草の生い茂った空家や空地の所有者に対して除草依頼や適正管理へ向けた啓発や指導を実施しました（17件の除草依頼文書を発送）。</p> <p>・定期的な環境調査として、大気調査2箇所、水質調査6箇所を実施しました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・引き続き定期的な環境測定調査を実施し、企業エコネット活動の推進や生活環境の保全に対して周知、啓発をしていきます。</p>			

主要施策4	地球温暖化防止の推進	所管課	町民環境課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日町地球温暖化実行計画に基づき、電気・ガス・ガソリン等の使用料を把握し、各職場で情報を共有しました。さらに職員に対する意識レベルの向上が必要です。</p> <p>・ホームページにて朝日町地球温暖化対策実行計画の評価を公表しました。昼休み時間帯の不要な箇所の消灯に取り組みました。</p> <p>・企業エコネット活動を通じて清掃活動やエコ通勤を実施し、参加企業と情報共有をしました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・朝日町地球温暖化実行計画の見直しを行い、全職員と情報共有し、地球温暖化防止対策に取り組みます。</p>			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町民1人が1日に出すごみの量	534g※	目標値	533g	530g			530g※
		実績値	530g (速報値)				
環境問題・観測地点数	11地点	目標値	→				現状維持以上
		実績値	11地点				
企業エコネット参加事業社数	5社	目標値	6社	6社			7社
		実績値	6社				

※現状値及び目標値のごみの量の数値は、一般廃棄物処理実態調査（令和元年度実績）の数値から算出した値。

4-1 農業の振興

施策の目指す姿

- 農業が持つ多面的機能（洪水を防ぐ機能、生き物のすみかになる機能、癒しや安らぎをもたらす機能など）が、維持されるよう地域ぐるみによる農地の保全・活用が行われています。
- 担い手の確保による農業の経営体制の強化、農作物の高品質化・ブランド化や生産性の向上及び地産地消が進んでいます。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	農業生産基盤の維持向上	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・多面的機能支援事業において、活動組織が行う老朽化した農業施設の長寿命化に対する支援を行い、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進するため、2団体に補助金を交付しました。</p> <p>※【実施計画】多面的機能支援事業</p> <p>・農作物への被害防止のため、檻の設置やパトロールを実施しました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・農業の持つ多面的な機能の保全・活用や農業の生産基盤を整備するため、地域ぐるみの共同活動や農業施設の修繕を支援する補助金等で、農地や農業施設の適正な維持・改修を推進します。</p> <p>※【実施計画】多面的機能支援事業</p> <p>・農作物への被害防止のため、引き続き檻の設置やパトロールを実施します。</p>			

主要施策2	農業の担い手の育成・確保	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・農地の区画拡大を促進するための補助金要件を緩和し、担い手の経営拡大・効率化の支援を行い、農地利用集積率は65.6%となりました。</p> <p>※【実施計画】担い手対策事業</p> <p>・令和3年11月1日、「朝日町集団転作協議会」の法人化により「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」が設立されました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・農地中間管理機構等を活用した農地利用の集積・集約化や農地の区画拡大を促進する補助金等で、担い手の経営拡大・効率化を支援します。</p> <p>※【実施計画】担い手対策事業</p> <p>・「農事組合法人 匠ファーマーズ三重朝日」の効率的・安定的な農業経営や農業の担い手を育成するため、必要な支援等を行います。</p>			

主要施策3	農業生産等の振興	所管課	産業建設課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・高品質化、ブランド化、6次産業化、スマート農業などを行っている先進地自治体の状況調査を行いました。 ・特産品農作物である「あじさい」「あさひのお米」「原木しいたけ」「生栗」を町広報紙等にてPR活動を行い、販路拡大を支援しました。 ・「あさひのお米」「原木しいたけ」「たけのこ」については、関係機関等と連携し一部学校給食で活用されました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・高品質化、ブランド化、6次産業化、スマート農業などを行っている先進地自治体の視察を検討します。 ・特産品農産物を町広報紙等でのPR活動を行い農産物の販路拡大を支援します。 ・特産品農産物を関係機関等と連携し、学校給食での活用促進により地産地消に努めます。 			

主要施策4	遊休農地の活用・解消	所管課	産業建設課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会と連携した農地パトロールにより遊休農地が約0.4ha減少しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会等と連携し、引き続き遊休農地の解消に向け農地の適正管理に努めます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
農地利用集積率	62.4%	目標値	63.9%	66.0%			70.0%
		実績値	65.6%				
集落営農の法人化	0法人	目標値	1法人	—			1法人
		実績値	1法人				

4-2 商工業の振興

施策の目指す姿

- 町内商工業者が抱える課題に対して、適切な対応ができるよう朝明商工会等と連携しながら商工業の支援体制が強化されています。
- 時代の変化・危機に対応した個性的で活力ある地場産業が振興するとともに、新たな企業立地により町が活性化しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	時代変化に即した活力ある商工業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金を実施しました。 ・創業支援等事業計画に基づいて、創業希望者・創業者に対して相談窓口の設置を朝明商工会と連携して行いました。 ・コロナ禍により影響を受けている町内飲食店への事業継続支援のため、朝日町飲食店舗等応援給付金事業として、三重県が行う緊急事態措置等による時短要請に協力いただいた飲食店へ200千円の給付しました（13件、2,600千円）。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明商工会への補助金交付並びに中小企業への利子補給金等を実施します。 ・創業支援等事業計画に基づいた創業支援を実施します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による廃業等が生じないよう、朝明商工会等と連携してセーフティネット施策を推進します。 ・コロナ禍における原油価格、物価高騰に対する事業者への支援を検討します。 			

主要施策2	地場産業の振興	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品として「生栗」を認定し、認定された朝日町特産品は9品となりました。 ・特産品のPR、販路拡大の場である「ござれ市」は、コロナ禍により中止となりました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品認定の際には、専門知識のある朝明商工会等と連携して新たな特産品を創出します。 ・ござれ市、ふるさと納税制度において、特産品のPRを行い、販路拡大を支援します。 			

主要施策3	新規企業の立地促進・支援	所管課	企画情報課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・企業誘致エリアである埋縄川原地区の開発行為許可が9月末で下り、令和5年7月操業に向けた雇用機会の確保にかかる道筋ができました。また、開発区域内の町施工分の水路改良について、負担金施工を行うための「埋縄川原地区開発事業に付随する用排水路改良に伴う協定書」を施工業者と締結しました。当該施工につき、適切に履行がなされるよう指導が必要です。</p> <p>※【実施計画】埋縄川原地区水路改良事業</p> <p>・企業誘致奨励金措置について、令和3年4月に1件指定事業者を決定し、雇用の促進を行うことが出来ました（令和4年度6月補正により奨励金措置のための予算計上予定）。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・企業誘致エリアである埋縄川原地区において、負担金施工とする水路施工について、適切に履行がなされるよう関係機関と調整を図り、適切な指導を実施します。</p> <p>※【実施計画】埋縄川原地区水路改良事業</p> <p>・町内の未利用地を把握し、地域特性に応じた企業誘致の検討を行います。</p>			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特産品の新規認定件数	1件	目標値	→				年1件以上
		実績値	1件	/	/	/	/
朝明商工会等の支援を受けた創業者数	1件	目標値	→				年1件以上
		実績値	0件	/	/	/	/

4-3 観光・交流資源の創出

施策の目指す姿

- 朝日まちなみプランに基づく東海道の整備により、交流人口が増加し賑わいのある町となっています。
- 観光・交流資源の積極的なPR活動により、本町の認知度、ブランド力及び町の魅力が向上しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	観光・交流資源の発掘・活用	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・JR朝日駅前ポケットパーク、および縄生桜並木にて完成記念竹あかりイベントを実施し、町内外から多くの来訪者がありました。また、朝日まちなみ検討会主催、朝日町共催により、東海道のまちなみを朝日の竹で作った花挿しで演出する取り組みを実施しました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・あさひ竹プロジェクトの事業である竹あかり展示イベント等を、朝日まちなみプランにて整備された施設等にて朝明商工会と連携した開催を検討します。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業、森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）</p>			

主要施策2	観光・交流資源の情報発信	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・朝日まちなみプランの進捗状況紹介動画や、朝日まちなみ検討会が作製したマップの原画を紹介する原画展の開催等、町広報紙等にて情報発信を行いました。</p> <p>※【実施計画】東海道まちなみ整備事業</p> <p>・スマートフォンにより利用可能なナビシステムである「まち歩きナビ」を整備し供用開始しました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・報道機関との連携や町広報紙等の活用により、観光・交流資源のPRを推進します。</p> <p>・朝日まちなみプランの進捗状況紹介動画をCCNet放映、町ホームページ等にて発信します。</p>			

主要施策3	広域連携による観光振興	所管課	産業建設課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・北伊勢10市町を周遊しながら花を楽しむスマホスタンプラリー「花と食の回廊スタンプラリー」において、広域的な観光振興を図りました。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・近隣市町との広域連携による観光情報の発信や、各市町のイベント実施などにより広域的な観光振興を図ります。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
あさひ竹プロジェクト関係イベントへの参加者数	—	目標値	60人	180人			400人	
		実績値	111人					
朝日まちなみプランに関する町広報紙年間掲載件数	6件	目標値					現状維持以上	
		実績値	8件					

4-4 雇用対策の推進

施策の目指す姿

- 地元就職の促進や、若者、女性、高齢者、障がい者、外国人の雇用促進など多様な働き方ができる町になっています。
- 就業機会の拡大・確保、就労環境の改善、勤労者福祉の向上が図られ、誰でも安心して働くことができる地域社会になっています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	雇用機会の確保と雇用の促進	所管課	産業建設課・企画情報課・保険福祉課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションの出張相談窓口を毎月1回設置し、就労情報の提供を行いました。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致エリアである埋縄川原地区の開発行為許可が9月末で下り、令和5年7月操業に向けた雇用機会の確保にかかる道筋がつかえました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談があった30～40代の就労意思がある者に、三重労働局発行の「with us」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援）のリーフレットを提供し、利用を促しました。 ・相談があった外国人向けには、公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを提供し、利用を促した。また、外国人住民支援に関する県社協主催の研修を受講しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢地域若者サポートステーションなどと連携のもと就労情報の提供や相談活動を実施します。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の未利用地を把握し、地域特性に応じた企業誘致の検討を行い、雇用機会の確保に努めます。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、三重労働局発行の「with us」（就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援）及び公益財団法人三重国際交流財団（MIEF）発行の「みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）」のリーフレットを提供し、利用を促します。 			

主要施策2	働きやすい環境づくりの促進	所管課	産業建設課・子育て健康課
■ 令和3年度の進展度		C	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方が町民と企業に浸透するように朝明商工会等の関係機関と連携してパンフレットを窓口等に配備しました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><産業建設課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページ等を活用し、働きやすい環境づくり促進に向けたPRや情報提供に努めます。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民と企業が働きやすい職場環境づくりを推進していくために、窓口に「健康経営優良法人認定制度」紹介のパンフレットを設置します。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
北勢地域若者サポートステーションへの就労相談を通じた進路決定者数	1件	目標値	→				年1件以上
		実績値	0件				

5-1 協働のまちづくりの推進とコミュニティの育成

施策の目指す姿

- 多様な町民ニーズや地域課題について、町民と行政が情報を共有するとともに、相互に補完し、協働で課題解決に取り組んでいます。
- 町民の自主的な活動により地域づくりにかかわる町民が増え、地域コミュニティ活動が活発に行われています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	町民参画の推進	所管課	企画情報課・総務課
■ 令和3年度の進展度		A	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画基本計画の見直しにあたり、町民の意見を広く反映できるよう朝日町男女共同参画基本計画策定委員会を設置し、年4回の委員会を開催しました。また、8月に、町民950人、町内事業所50事業所を対象にアンケート調査を実施し、その結果を町ホームページで公表しました。さらに町民の参画を推進するため、1月に、パブリックコメントを実施し、提出者数2名、意見数23件があり、その結果を町ホームページで公表しました。 <p>※【実施計画】男女共同参画基本計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町立地適正化計画別冊の策定にあたりパブリックコメントを実施し、町民の参画を推進しました。 ・広く町民の声を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を継続して設置しました（令和3年度意見数15件）。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町新庁舎建設基本構想を策定するにあたり、朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会委員として一般公募より町民を1名選定した他、各種町民で構成されている団体の代表や専門的知見を有する町民として8名を選定しました。 <p>※【実施計画】新庁舎建設基本構想・基本計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未開催となりました。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第6次朝日町総合計画前期基本計画」、「かがやくあさひ 男女共同参画基本計画」の令和3年度事業実績の公表等により、町民の参画意識高揚に努めます。 ・引き続き、広く町民の声を聴くため、町ホームページに「町政への意見箱」を設置します。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町新庁舎建設基本構想策定事業については、事業期間を翌年度に繰り越したため令和4年度も引き続き委員として町民参画する他、策定にあたりパブリックコメントを実施する予定です。 ・タウンミーティングについては、新型コロナウイルス感染拡大状況を見極めながら、自治区長の意向を確認しつつ、再開を検討していきます。 			

主要施策2	開かれた町政の推進	所管課	企画情報課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページにおいて、「注目情報」を新たに設置し、情報発信の強化に努めました。また、セキュリティ強化やバージョンアップに向けて情報収集や他市町と意見交換を行いました。 ・町広報紙である「広報あさひ」をスーパーや病院など町内各所に配置し、広報機会の充実に努めました。 ・朝日町情報公開条例に基づき公文書公開請求が14件あり対応しました（12件全部公開 1件非公開 1件不存在）。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページにおいて、現行のホームページCMSの保守期間満了及びセキュリティ強化のため更新・バージョンアップを行います。 ※【実施計画】ホームページCMS更新・バージョンアップ事業 ・引き続き、町広報紙である「広報あさひ」をスーパーや病院など町内各所に配置し、新たな施設への配置など拡充を図ります。 ・引き続き、朝日町情報公開条例に基づき適切な情報公開を行います。 ・行政保有情報のオープンデータ化に向けて、他市町の取り組み状況を調査・研究します。 			

主要施策3	地域の多様なコミュニティ活動の支援	所管課	企画情報課・総務課・生涯学習課・保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治区の活動支援として、朝日町地域づくり推進事業補助金を9自治区に5,452千円交付決定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実績額は3,896千円、活用率は65.0%となりました。また、持続可能な自治区活動が図られるとともに、コロナ禍においても補助金が有効に活用されるよう、2月に開催された自治区長会にて各自治区の申請状況及び事業内容について情報交換を行いました。 ※【実施計画】地域づくり支援事業 ・例年、サマーフェスタ実行委員会にコミュニティ団体への活動支援を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によりサマーフェスタASAHIは中止となりました。 ※【実施計画】サマーフェスタ委託事業 ・コミュニティ活動の次代の担い手の発掘、育成のため、県が設置した「持続可能なコミュニティづくり推進検討会議」に出席し、県内各市町の状況について情報収集を行いました。本町でも課題となっている参加者の固定化、担い手不足は、全県的な共通な課題でした。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金（年総額2,889千円）、自治区用人費補助金（年総額2,194千円）及び自治区振興補助金（年総額2,500千円）を人口、世帯数等を勘案し各地区へ補助を行いました。 ・自治会（6回開催）を通じて自治区と行政の情報共有を図りました。 ・自治区の加入率低下や自治会活動の担い手不足等により自治会組織の体制維持が困難になってきていることが課題として挙げられます。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館への支援として小向分館の改修工事について朝日町財政健全化措置要綱により補助金の交付申請があり予算措置を行いました（交付決定済）。 ・本部子ども会への支援として朝日町子ども会育成者連絡協議会補助金として500千円の補助及び事務補助を行いました。地区子ども会へは前述の補助金から各地区へ補助金交付、活動で必要な保険の全面補助、子ども会の運営に関する支援を行いました。 <p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに対し、活動補助金(年総額1,000千円)を交付し、老人クラブの活動を支援しました。 			

■令和4年度の取り組み方向

<企画情報課>

・引き続き、朝日町地域づくり推進事業補助金をもとに持続可能な自治区活動が図られるよう活動支援を実施します。また、補助金が有効に活用されるよう情報提供を行うとともに、補助金窓口である企画情報課において随時相談対応を行います。

※【実施計画】地域づくり支援事業

・新型コロナウイルス感染症の状況によるがサマーフェスタの開催が決定すれば、サマーフェスタ実行委員会へ活動支援を実施します。

※【実施計画】サマーフェスタ委託事業

・コミュニティ活動において、地域のつながりの希薄化、参加者の固定化、担い手不足が課題となっていることから、県が設置した「持続可能なコミュニティづくり推進検討会議」をもとに先進地の研究を行います。

<総務課>

・町内9自治区への活動支援（運営支援）として、自治区補助金、自治区用人費補助金及び自治区振興補助金を人口、世帯数等を勘案し各地区へ補助を行う予定です（令和4年8月頃）。

<生涯学習課>

・朝日ヶ丘分館の建替について、円滑に事業が実施されるよう補助金を交付します。

・引き続き本部子ども会への補助金及び事務補助支援、地区子ども会へは各地区へ補助金交付、活動に必要な保険の全面補助、子ども会の運営に関する支援を行います。

<保険福祉課>

・引き続き老人クラブに対し、活動補助金を交付し、老人クラブの活動を支援を行います。

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町ホームページアクセス数	335件/日	目標値	350件/日	580件/日			400件/日
		実績値	573件/日				
地域づくり推進事業補助金活用率	83.8%	目標値	→				現状維持以上
		実績値	65.0%				

5-2 人権の尊重とダイバーシティ社会の推進

施策の目指す姿

○お互いの人権を尊重し、性別をはじめ年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず、全ての町民が多様性を認め合いながら、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる社会が形成されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	人権教育・人権啓発の推進	所管課	保険福祉課・生涯学習課・教育課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に関する差別を防止するため、8月に人権啓発リーフレットを町広報紙に折り込み、全戸配布を行いました。 ・コロナ禍のため町民を集めての人権講演会を中止しましたが、新型コロナウイルス感染症と人権をテーマに、人権啓発番組を作成しケーブルテレビにて2月に3回放送を行いました。 ・人権啓発番組の周知も広報折込、町ホームページのほかケーブルテレビにて行い、視聴者数の向上に努めました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町人権教育研究協議会が主催している、町職員及び教職員に対する人権教育・啓発については新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町、川越町、菰野町の3町で、三重郡子ども人権フォーラムを開催しました。また、本年度、新たに「朝日町教育委員会事務局及び町立園・学校における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を作成し、園・学校に周知しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会については、昨年度同様ケーブルテレビでの人権啓発番組を作成、放送する予定です。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町人権教育研究協議会主催の町職員及び教職員に対する人権教育・啓発については新型コロナウイルス感染状況を確認しながら開催を検討します。 <p><教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別解消3法を周知するための、学校向けポスターを作成するとともに、差別事象に関する危機管理マニュアルを改訂し、園・学校に周知します。 ・三重郡子ども人権フォーラムを引き続き開催し、人権意識の向上に努めます。 			

主要施策2	人権問題に関する相談体制の充実	所管課	保険福祉課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員による相談事業として特設人権相談を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により6月の第1回目は実施できなかったが12月に1回実施しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・特設人権相談を6月・12月の年2回実施予定しており、同日に人権に関する展示を行うとともに、法務局などの電話相談窓口の周知啓発などを併せて実施する予定です。 			

主要施策3	ダイバーシティ社会の推進	所管課	企画情報課・保険福祉課・生涯学習課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画基本計画の見直しにあたり、8月に実施したアンケート調査にて性の多様性について実態を把握し、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」に反映しました。 ※【実施計画】男女共同参画基本計画策定事業 <p><企画情報課・保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> パートナーシップ制度において、9月にパートナーシップ制度の運用を開始した三重県と積極的に情報交換を行い、関係各課と連携し、パンフレットを窓口で配布するなど啓発事業や情報提供に取り組みました。また、パートナーシップ制度の導入について、すでに独自のパートナーシップ制度を運用している他市町と情報交換を行いました。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関しては、7月に四日市市において外国人雇用企業向け講演会が開催された際に朝日町が後援を行いました。町として具体的な施策を行うことはできませんでした。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」を推進し、三重県や関係機関と情報交換を行うなどダイバーシティ社会に向けた気運の醸成を図ります。 <p><企画情報課・保険福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> パートナーシップ制度については、令和3年9月に県下全域で実施されており、引き続き町民に対する情報提供を行います。また、当該事業の登録者が利用できるサービスは他市町が利用できるものについては対応できていますが、新たに利用できそうなサービスが出た場合に、関係課と協力してサービスの拡充に努めます。 <p><生涯学習課></p> <ul style="list-style-type: none"> 北勢地域における日本語学習支援体制づくり連絡会議の開催が予定されているため、情報共有を行い、今後の具体的施策につなげます。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
人権に関する講演会や研修会の参加者数	120人 (H30)	目標値	120人	-			150人
		実績値	-				
人権講演会参加者の満足度	95.8% (H30)	目標値	96.0%	-			97.0%
		実績値	-				
人権に関する相談の開催	2回	目標値	2回	2回			5回
		実績値	1回				
弁護士等による専門相談の開催	6回	目標値	12回	12回			12回
		実績値	12回				
パートナーシップ制度の導入	未導入	目標値	未導入	導入済			導入済
		実績値	導入済				

5-3 男女共同参画社会の形成

施策の目指す姿

- 社会のあらゆる分野において、男性と女性が、社会の対等な構成員として一人一人の個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会になっています。
- 男性と女性が性別にかかわらずお互いに協力して、家事、育児、介護等に参画することにより、男性と女性ともに安心して働くことができる地域社会になっています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	男女共同参画社会の推進	所管課	企画情報課・各種審議会等所管課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画活動団体への活動支援として、1団体に48千円の補助金を交付しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、町民参画の事業は実施できなかったが、男女共同参画社会に対する意識向上と事業の充実を図るため、男女共同参画活動団体が自主的な研修（勉強会・日本女性会議の参加）を実施しました。 ・男女共同参画基本計画の見直しを行うため、8月にアンケート調査、1月にパブリックコメント、年4回の策定委員会を開催し、3月に「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」を策定しました。 <p>※【実施計画】男女共同参画基本計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の意向が十分に反映されるよう朝日町男女共同参画基本計画策定委員会へ女性委員を6名登用しました（10名のうち6名が女性委員）。 ・庁内の職員で構成される朝日町男女共同参画推進委員会を新たに設置し、年3回の会議を開催し、男女共同参画基本計画の見直しや男女共同参画に関する意識の向上に取り組みました。 <p><各種審議会等所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町まちづくり条例に基づき、女性の意向が十分反映されるよう、各種審議会等へ女性の参画・登用を促進した結果、女性委員の登用率は22.1%でした。更なる女性の参画・登用が必要です。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男女共同参画活動団体の活動支援を行います。令和4年度は料理教室や講演会など4回の事業の実施を予定しています。 ・朝日町男女共同参画推進委員会では、引き続き男女共同参画基本計画の推進に向けて、全庁的な意識付けと各種審議会・委員会などへの女性の参画・登用を各課に働き掛けます。 <p><各種審議会等所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種審議会等へ女性の参画・登用を推進し、女性の意向が反映できるように努めます。 			

主要施策2	男女がともに活躍できる環境づくり	所管課	企画情報課・子育て健康課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、育児・介護休暇に関するパンフレットやポスターを掲示し、男女がともに働きやすい環境づくりを推進しました。 ・男女がともに活躍できるとともに女性が働きやすい職場環境を整備するため、新たに「女性活躍推進計画」を「かがやくあさひ 第2次男女共同参画基本計画」に位置づけました。 <p>※【実施計画】男女共同参画基本計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、広報あさひ11月号において、DVの相談窓口などを掲載し、DV防止の啓発を行いました。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢福祉事務所の女性相談員と連携し、DV被害者支援を行いました。また、DVケースでは、子どもの面前DVで虐待にもなるため、児童相談所とも連携を図っています。 ・広報やリーフレットを活用し、DV相談に関する周知を行いました。 ・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための基本計画」の見直しを行い、3月に策定した「かがやくあさひ 第2次男女共同基本計画」に位置づけました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関と連携し、育児・介護休暇制度に関する情報を提供し、取得に向けた啓発を行います。 <p><子育て健康課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北勢福祉事務所や北勢児童相談所、あさひ園や小中学校等関係機関と連携し、DV・虐待被害者支援を行っていきます。 			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
男女共同参画講座の実施回数	3回	目標値	3回	4回			4回
		実績値	0回				
審議会等への女性委員登用率	19.2%	目標値	25.0%	25.0%			40.0%
		実績値	22.1%				

5-4 情報化及び効率的な行政運営・民間委託の推進

施策の目指す姿

- 電子申請による町民生活の利便性向上や、AIやRPA等のICTを用いた行政事務の効率化と正確性の確保を両立させた、スマート自治体の実現しています。
- 限られた資源（人員・財源等）を有効に活用し、事業の選択と集中により効果的かつ効率的な行政運営が行われています。
- 社会情勢の変化や町民ニーズに的確に対応できる職員が育成され、質の高い行政サービスが提供されています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	行政の情報化への対応	所管課	企画情報課・総務課・町民環境課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県主催の三重県市町DX推進協議会に参加し、デジタル化等に向けた情報収集や他市町との意見交換を実施しました。今後も継続して情報収集と県、県内市町と緊密な連携を図る必要があります。 ・朝日町デジタル戦略推進計画を3月に策定しました。全庁横断的にデジタル化を推進していく必要があります。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及推進の取り組みであるマイナポイント事業の啓発記事を広報あさひ7、9、11月号に掲載し、マイナポイントの手続きに係る支援業務を実施し、174件の支援を実施しました。 <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの臨時窓口（平日夜間交付窓口・休日臨時窓口）を開設するとともに、町広報紙及び町ホームページにて周知を行い、交付率アップに努めました。その結果、マイナンバーカード交付円滑化計画に基づく令和3年度末時点の目標値は57.50%であるが、実績値は46.36%となりました。引き続き、交付率向上に努める必要があります。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して三重県主催の三重県市町DX推進協議会等に参加し、情報収集と県、県内市町と緊密な連携を図ります。 ・デジタル戦略推進計画を推進するため、全庁横断的にデジタル化にかかる情報共有等を実施します。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及推進の取り組みであるマイナポイント事業の第2弾が実施されていることから、当該事業の啓発記事を適宜掲載し、マイナポイントの手続きに係る支援業務を引き続き実施します。 ・役場窓口における三密の軽減を図ること及び行政サービスの向上として、住民票及び印鑑登録証明書を全国のコンビニエンスストアで発行することができるようにシステムを構築します。 <p>※【実施計画】証明書コンビニ交付システム導入事業</p> <p><町民環境課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き臨時窓口を開設し、町広報紙、町ホームページなどを通じてマイナンバーカード取得に向けた周知、啓発に努めます。 ・マイナンバーカードとスマートフォンを使用して戸籍証明書等が取得できるシステムを導入します。 <p>※【実施計画】スマート申請システム導入事業</p>			

主要施策2	情報化に対応した人材の育成、情報セキュリティ対策の強化	所管課	企画情報課・総務課
■令和3年度の進展度		C	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号法関連の研修を実施し、個人情報などの機密情報の適正な管理やセキュリティ対策について意識向上を図りました。継続して、研修等を実施していく必要があります。 ・情報系、基幹系システムのネットワークにかかるセキュリティ機器等の更新を3月に実施しました。 <p>※【実施計画】電算機器・システム（自治体情報システム強靱化）更新事業</p> <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務処理能力向上のため市町総合事務組合が実施している情報処理研修の周知を行いました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策については、継続して研修等を行い、職員全体の意識向上を図ります。 ・情報セキュリティ基本方針等の見直しに向けた情報収集を行います。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理研修に職員が参加できるよう周知します。 			

主要施策3	効率的な行政運営	所管課	総務課・企画情報課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きにおける押印の見直しを行った結果、626の手続きの内、国及び県の法令等により押印が義務付けられているもの等の一部の手続きを除いた518の手続きにおいて押印廃止を行いました。 <p><企画情報課・総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学など高等教育研究機関との連携では、「朝日町と四日市大学の地域貢献事業推進に関する協定書」に基づき、「朝日町新庁舎建設基本構想策定委員」「朝日町地方創生推進会議委員」「朝日町男女共同参画基本計画策定委員」として四日市大学から参画いただきました。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想の策定については、新庁舎建設基本構想策定委員会を立ち上げ、現庁舎の課題を把握し、問題点の洗い出しを行った上で、新庁舎に求める役割と機能など新庁舎建設に向けた基本的な考え方を検討しました。令和4年度へ事業繰越となり引き続き検討を行います。 <p>※【実施計画】新庁舎建設基本構想・基本計画策定事業</p> <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請（ぴったりサービス関係）にかかる次年度への事業化を検討したが、利用見込みやマイナンバー普及状況などを鑑みて見送りました。引き続き、状況把握に努め、適切な時期にシステム導入できるよう検討が必要です。 ・次年度の内部情報系リプレースにかかる新システム移行について、令和4年度当初予算化しました。新システム移行後も円滑な運用となる対応する必要があります。 			

■令和4年度の取り組み方向	
<p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学など高等教育研究機関とは、各種審議会及び委員会にて引き続き連携を図ります。 ・四日市大学との連携については、「朝日町と四日市大学の地域貢献事業推進に関する協定書」が締結後に18年経過したこともあり、更なる連携強化をめざし、新たに「四日市大学と朝日町との包括連携に関する協定書」を締結する手続きを進めます。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町新庁舎建設基本構想では、新庁舎の機能や規模、建設候補地、概算事業費の算出などの基本的な考えを取りまとめるとともに、パブリックコメントを実施して基本構想を固めます。 <p><企画情報課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請（びったりサービス関係）は、利用見込みやマイナンバー普及状況など状況把握や他市町事例などの情報収集を行います。 ・内部情報系リプレイスは新システム移行を伴うため、移行後円滑な運用が図れるよう職員に対する操作研修などの取り組みを実施します。 <p>※【実施計画】電算機器・システム（内部情報系）更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が推進する標準準拠システムに基幹系20業務を令和7年度に移行するため、情報収集等を行います。 	

主要施策4	職員の能力向上	所管課	総務課
■令和3年度の進展度		C	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、総合事務組合主催の研修の延期、職場内研修の延期等があり計画どおりの実施に至りませんでした。開催された総合事務組合主催の各種研修には、71回に参加しました。 ・11月にコンプライアンス行動指針に基づき各職場内で公務員倫理について研修を行いました。 ・障がい者雇用に努めた結果、雇用率は3.6%で法定雇用率（2.6%）を達成しました。 ・人事評価制度の見直しについては、他の自治体の取り組み状況等を調査、検討しました。 			
■令和4年度の取り組み方向			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度実施できなかったコンプライアンスに関する全体研修を4年度早々に実施予定（6月9日及び15日）です。 ・総合事務組合主催の階層別研修をはじめ各分野において知識が必要とされるパワーアップ研修、また国際文化研修所の専門研修に随時派遣を行います。 ・人材育成と公務能率の向上のため、人事評価制度の見直しを引き続き検討します。 			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
マイナンバーカードを活用してオンラインで申請可能な行政手続数	4件	目標値	4件	8件			8件
		実績値	4件				
ICT業務継続計画	未策定	目標値	—	—			策定済
		実績値	未策定				

5-5 健全な財政運営の推進と自主財源の確保

施策の目指す姿

- 中長期的な財政計画に基づき、自主財源が安定的に確保され、限られた財源を有効に活用し、健全で持続可能な財政運営が行われています。
- 公共施設については、計画的な維持管理が実施され、長寿命化が図られています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	健全な財政運営の推進	所管課	総務課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・厳しい財政状況の中でも、事業の選択と集中等による一般財源の抑制に努めました。今後、より一層の事業の選択と集中を行い、財政基盤の安定を図る必要があります。</p>			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p>・財源確保のため特定目的基金の活用や、交付税措置のある町債の発行を行うことで、財政調整基金の取崩額の抑制を図り、健全な財政運営に努めます。</p> <p>・今後の財政負担を把握するため、中長期的な財政計画の策定を検討します。</p>			

主要施策2	自主財源の確保	所管課	町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課・防災保全課
■ 令和3年度の進展度		B	
■ 令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><町税及び使用料、手数料に関する徴収所管課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対して、督促・催告・差押予告書を送付したり預金調査を行うなどして滞納整理を進めました。 ・納税者の利便性向上を図るため、スマートフォンアプリにて町税等の納付が行える収納サービスを開始しました。 ・収納率向上のための口座振替の推進等について、より効果的な周知方法の検討が必要です。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税については、令和3年度より新規サイトへの出品を開始し2サイト体制で寄附を受け付け、寄附金額は過去最高額（471件、6,128千円）となりました。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の売却等について、検討は行いましたが、売却に至りませんでした。 			
■ 令和4年度の取り組み方向			
<p><町税及び使用料、手数料に関する徴収該当課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対し、督促、催告、預金調査、滞納処分を継続して実施します。 ・収納率向上のため継続してより効果的な周知方法により口座振替を推進し、スマートフォンアプリに続き、納付機会の拡充と納税者の利便性の向上を図るための収納方法についてさらに検討します。 ・口座振替やコンビニ収納など期限内納付を推進します。 <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税については、引き続き総務課と産業建設課が連携し、魅力ある返礼品開発を行います。 <p><防災保全課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の処分につきましては、引き続き検討します。 			

主要施策3	公共施設等の適切な維持管理	所管課	総務課・各公共施設管理所管課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p><総務課></p> <p>・朝日町公共施設等総合管理計画を改訂し、朝日町公共施設個別施設計画の経費見込み等の反映を行いました。今後は計画に基づき、公共施設の更新・長寿命化を計画的に行うために財源確保が課題となります。</p> <p>※【実施計画】公共施設マネジメント事業</p> <p><各公共施設管理所管課></p> <p>・庁舎及び小中学校をはじめとした各公共施設において、朝日町公共施設個別施設計画に基づき適切な維持管理に努めました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p><総務課・各公共施設管理所管課></p> <p>・限られた財源で計画的に公共施設の保全や長寿命化を図るため、引き続き朝日町公共施設個別施設計画に基づく各施設の維持管理・更新に努めます。</p>			

目標指標							
指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
実質公債費比率 ^{※1}	6.8%	目標値	6.5%	6.5%	/	/	6.0%
		実績値	7.4%	/	/	/	/
将来負担比率 ^{※2}	3.4%	目標値	2.7%	2.7%	/	/	0.0%
		実績値	6.4%	/	/	/	/
経常収支比率 ^{※3} (臨時財政対策債等含む)	92.1%	目標値	85.0%	85.0%	/	/	80.0%
		実績値	82.5%	/	/	/	/
町税合計収納率(合計分)	99.5%	目標値	→				現状維持以上
		実績値	99.7%	/	/	/	/

※1実質公債費比率：地方公共団体の収入に対して、1年間で支払った借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを割合で表したものです。数値が低くなるほど、財政は健全とされています。

※2将来負担比率：地方公共団体の収入に対して、地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを割合で表したものです。数値が高いほど、将来、財政を圧迫する可能性が高いことを示します。

※3経常収支比率：地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合です。この比率が高いほど投資的経費等の臨時的経費に使用できる一般財源が少なく、財政構造が弾力性を失っていることを示します。

5-6 広域行政・広域連携の推進

施策の目指す姿

- 町民の生活や活動範囲が拡大する中、広域的な行政課題等に対して近隣市町との共同事業として取り組むことによって、効率的な行政運営が行われています。
- 新たな行政ニーズに対応するため、行政間、町民間での交流・連携が図られ、地域力が向上しています。

令和3年度 事業評価シート

主要施策

主要施策1	広域連携による行政の推進	所管課	企画情報課・防災保全課・税務課・保険福祉課・上下水道課・町民環境課
■令和3年度の進展度		B	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・現状の広域連携である、「常設消防委託事業」「三重地方税管理回収機構」「三重県後期高齢者医療広域連合」「三重県三重郡老人福祉施設組合」「北勢沿岸流域下水道」「川越排水機場維持管理」「朝明広域衛生組合」「朝日町、川越町組合立環境クリーンセンター」を維持し、共同事業として取り組み、効率的な行政運営を推進しました。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・引き続き、現状の広域連携を継続するとともに、新たに広域的な対応を必要とする行政課題に対しては、共同事業として取り組むことを検討します。</p>			

主要施策2	地域間交流の推進	所管課	企画情報課
■令和3年度の進展度		C	
■令和3年度の取り組み概要と成果、残された課題			
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、全国朝日会が中止となったことから、行政間での交流及び連携が実施できませんでした。</p> <p>・4月広報にて「地域間交流事業」の補助申請団体について募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響によって応募がありませんでした。</p>			
■令和4年度の取り組み方向			
<p>・山形県朝日町、長野県朝日村、富山県朝日町と全国朝日会の開催に向けた協議を行います。</p> <p>・町民間にて文化・教育・産業・スポーツ・観光などにおいて広く交流及び連携が図れるよう、例年通り「地域間交流事業」の補助申請団体の募集を行います。</p>			

目標指標

指標名	現状値(R1)	年度	R3	R4	R5	R6	R7
広域的事業の展開	8事業	目標値	→				現状維持以上
		実績値	8事業				